参考資料編

資料１　都道府県別・構造別既存住宅戸数

資料２　ライフサイクルCO_2について

資料３　ＣＡＳＢＥＥ　構造別・地域別・基準別タイプ別ＬCCO_2排出量の算出

資料１　都道府県別・構造別既存住宅戸数

表 資-1　都道府県別・構造別既存住宅戸数（平成 15 年）

[redacted]

単位は[千戸]

住宅・土地統計調査（総務省統計局）を基に作成

資料２　ライフサイクルＣＯ$_2$について

2.　ライフサイクルCO_2について

2.1　ライフサイクルCO_2とは？

住宅の地球環境に対する影響を評価するためには、建設してから解体するまでの住宅の一生（これをライフサイクルと呼ぶ）で評価することが重要である。さらに地球環境に対する影響の中でも、現在最も重要視されているのが地球温暖化問題であり、その影響を計るためには、地球温暖化ガスの代表的なCO_2がどれくらい排出されるかという総量に換算して比べることが一般的である。このようなCO_2排出の量を住宅の一生で足し合わせたものを、住宅の『ライフサイクルCO_2』と呼んでいる。

住宅のライフサイクルは、建設、居住、更新、解体・処分などに分けられ、その様々な段階で地球温暖化に影響を与えるので、これらをトータルで評価しなければならない。例えば、建設時では、建設現場で使われる建材の製造、現場までの輸送、現場で使う重機などでエネルギーを使う。また、居住時には冷暖房、給湯、調理、照明、家電などでエネルギーを消費し、10数年に一度行う改修工事においても、新たに追加される建材の製造や除去した建材の処分などにエネルギーを使う。そして、最後の解体時にも解体工事と解体材の処分にエネルギーを使う。こうして使ったエネルギーを、地球温暖化の影響を計るためにCO_2排出の量に換算し、これら全てを足し合わせたものがライフサイクルCO_2である[*]。

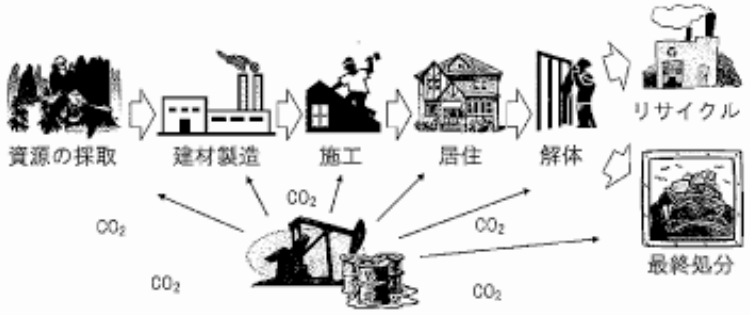


図3.5　住宅のライフサイクルにおけるCO_2排出段階

実際に住宅のライフサイクルCO_2を考えると、短時間で最も大きな影響を与えるのが建設時である。建設時のCO_2の排出量のほとんどは、建材などの製造エネルギーである。鉄、コンクリートなどは、膨大なエネルギーを使って製造されており、それらの値は輸送や建設に使われるエネルギーよりはるかに大きい。一方で居住時に排出されるCO_2の多くは、毎日使う電気、ガス、上下水道などに起因しており、１年単位で見ると建設時のCO_2とは比較にならないぐらい小さい。ところが、これをライフサイクルで見ると建設時よりも居住時のほうがはるかに大きくなる。例えばCASBEE-すまい（戸建）の計算方法で参照値として示している30年寿命の一般的な住宅であれば、居住時のCO_2排出の総量が７割程度を占めることになる（図3.6参照）。この割合は住宅の寿命が長くなるほど大きくなる。したがって、住宅のライフサイクルCO_2を削減するためには、居住時のエネルギー使用量を抑えることがまずは最も重要となる。

図3.6　住宅のライフサイクルCO_2内訳
一般的な木造住宅の例（参照値）

ここで、冷暖房エネルギーを削減するために高断熱化をした場合、居住時のCO_2排出の量が減ることになるが、建設時のCO_2排出の量は断熱材の製造・輸送エネルギーの増分に応じて増加する。高断熱化の地球温暖化対策効果をみるためには、このトレードオフの関係を踏まえて評価する必要がある。このことからも、ライフサイクルで評価することが重要となるのである。

ただし、このような住宅のライフサイクルCO_2を正確に計るのは難しい。建設時では、住宅に使われる膨大な部品、部材の製造エネルギーや輸送、建設工事におけるエネルギーを調べなければならない。また、居住時のエネルギー消費の計算に必要な、将来の暮らし方や設備機器の使い方を事前に決めることは難しいし、建物寿命に至ってはあくまで想定でしかない。

更に、エネルギーをCO_2排出量に換算するためには「CO_2排出原単位」とよばれる係数を使うことになるが、これにはいくつかの種類が公開されており、計算の目的により、適切に選択する必要がある。また、全ての材料について原単位が揃っているわけではなく、特にリサイクル材や新エネルギーについては一般的に使える原単位はほとんど公開されていない。

このように、正確な値を出すことは難しいが、その住宅が想定される暮らし方で想定される寿命を全うした場合のある値の算出は可能である。CASBEE-すまい(戸建)で示されているライフサイクルCO_2とは、評価対象住宅で、ある使い方を想定した場合、地球温暖化に対する影響をどこまで抑えられるかという実力を示しているものと考えていただきたい。

※民生家庭部門の温室効果ガスのほとんどがエネルギー起源二酸化炭素である。このため、ここではエネルギー起源の二酸化炭素のみを対象に評価することとした。

2.2 CASBEE-すまい(戸建)におけるライフサイクルCO_2評価の基本的考え方

一般的に住宅のライフサイクルCO_2を評価する作業は、膨大な時間と手間を必要とする。

建設段階を例にとると、まずは住宅を構成する全ての部材について、材料となる資源の採取、輸送、加工の各段階で使われるエネルギー資源の種類と量を調査し、それぞれに対してエネルギー種別ごとのCO_2排出原単位（単位エネルギー消費量あたりのCO_2排出量）を乗じた結果を積み上げる作業が必要となる。次に施工段階についても消費エネルギー量に応じたCO_2排出量を計算し、前述の結果に加えることになる。このような作業を建設段階以外についても行い、初めてライフサイクルCO_2を求めることができる。

これら様々な情報の収集や評価条件の設定には、専門的な知識が必要になることもある。また、住宅は一棟ごとに構成部材、立地、住まい方などが異なるため、一棟ごとに評価を行う必要がある。このような作業を設計・施工段階で行うことは、CASBEE-すまい(戸建)の多くのユーザーにとっては非常に困難である。

このため、ここでは次の方法により評価することとする。

① CASBEE-すまい(戸建)ユーザーの評価作業にかかる負担をできるだけ軽減するために、ライフサイクルCO_2のためだけの情報収集や条件設定を必要とせず、CO_2排出に特に関係する他の採点項目の結果から自動的に計算される方法で評価する。

② これにより評価対象が評価可能でかつ重要な項目に絞られるため、ライフサイクルCO_2に関係する取組みの全てが評価されることにはならないが、すまいではCO_2排出量のおよその値やその削減の効果などをユーザーに知ってもらうことを第1の目的としてライフサイクルCO_2を表示することとする。

一方で、ライフサイクルCO_2評価に精通しているユーザーの中には独自の計算に基づく評価を望むかもしれない。しかし、現状ではすまいのライフサイクルCO_2評価の手法は定まっておらず、独自の計算を認めると、前提条件の異なる様々な結果が混在することになり、ライフサイクルCO_2のみならず、その結果を引用するBEE_Hの信頼性までが損なわれる恐れがある。以上を鑑み、CASBEE-すまい(戸建)では評価方法を原則固定とし、独自の計算は認めないこととする。ただし、居住段階のエネルギー消費に係るCO_2排出量の計算については若干の自由度を認める（詳しくは「PartⅢ 2.5 標準計算と地域電力別計算」を参照のこと)。

2.3 評価方法

(1) 全体概要

CASBEE-すまい(戸建)では、すまいのライフサイクルの中でも以下を評価対象とする。

「建設」	：新築段階で使う部材の製造・輸送、施工
「修繕・更新・解体」	：改修・修繕段階で使う部材の製造・輸送、および解体段階で発生する解体材の処理施設までの輸送
「居住」	：居住時のエネルギー・水消費

これら3分類の合計がライフサイクルCO_2であり、LR_H3.1の評価に使われ、更に評価ソフトの「温暖化影響チャート」に棒グラフとして内訳と共に示されることになる。なお、ここに含まれない他の段階（増改築、解体工事、解体材の処理など）については、個別性が高く一般的な条件設定が難しいなどの理由から、ここでは評価しないこととする。また、部材製造工場や事務所などの関連施設の運営や、労働者の通勤などに伴い間接的に排出されるCO_2も評価対象外とする。

(2)「建設」「修繕・更新・解体」のCO_2排出量

前述のとおり、個別の建物1棟ごとの排出量を求めることが困難なため、ここでは、予めCO_2排出量が計算された一般的な住宅（以後、「標準モデル住宅」と呼ぶ）を使って評価を行う。つまり、この評価は、対象住宅そのものではなく、標準モデル住宅に対して対象住宅における取組みを行った場合のCO_2排出量を求めることになる。

この評価方法を構築するにあたり、まずは「標準モデル住宅」の「建設」「修繕・更新・解体」段階におけるCO_2排出量を求めた（プラン、仕様などの詳細な情報は「PartⅢ 2.4 評価方法に関する補足」および「PartⅢ 3.2 評価のための参考資料（参考資料4)」に示す)。ここで、CO_2排出量は構造により大きく異なることがあるため、この計算は「木造」「鉄骨造」「鉄筋コンクリート造」の代表的な3構造それぞれについて行った※。また、この計算を行うにあたり、「建設」「修繕・更新・解体」のCO_2排出に関係する次に示す4つの採点項目をQ_H2から選び、それぞれ表3.5に示す計算条件として使用した。

※「木造」は通称「在来木造」と呼ばれる軸組み工法、「鉄骨造」は重量鉄骨によるラーメン構造、「鉄筋コンクリート造」は壁式工法でそれぞれCO_2排出量を計算した。よって、2×4工法、軽量鉄骨造などのこれ以外の工法では結果が異なる場合がある。これら他工法のデータ追加については今後必要に応じて検討するが、当面は最も近い構法（「LR_H2.1.1 構造躯体」で選択した構法）に当てはめて評価する。

表3.5　「建設」「修繕・更新・解体」のCO_2排出量計算に使う採点項目

Q_H2　長く使い続ける	CO_2排出量の計算への反映方法
1.1　躯体	建物寿命の設定に使用
1.2　外壁材	外壁材の交換周期の設定に使用
1.3　屋根材、陸屋根	屋根材の交換周期の設定に使用
2.2　維持管理の体制	外壁材、屋根材の交換周期の設定に使用

これ以外の採点項目の中にもCO_2削減に有効な取組みが含まれるが（例えば以下）、一般的な条件設定が困難なことと、CO_2排出原単位などの評価に必要なデータが整備されていないことから、ここでは評価対象外とする。

Q_H3関連　・・・　緑化推進、地域産材の利用

LR_H2関連　・・・　3R推進、生産段階、施工段階の取組み

LR_H3関連　・・・　インフラ負荷抑制、造成段階の取組み

以下に4つの採点項目の評価結果（採点レベル）と、CO_2排出量の計算条件の対応を示す。

表3.6　「$Q_H2.1.1$ 躯体」の採点結果とCO_2計算条件の対応表

レベル	基準	CO_2計算の条件
レベル1	（該当するレベルなし）	―
レベル2	（該当するレベルなし）	―
レベル3	日本住宅性能表示基準の「3-1　劣化対策等級（構造躯体等）」における等級1を満たす。	躯体・基礎の寿命30年
レベル4	日本住宅性能表示基準の「3-1　劣化対策等級（構造躯体等）」における等級2を満たす。	躯体・基礎の寿命60年
レベル5	日本住宅性能表示基準の「3-1　劣化対策等級（構造躯体等）」における等級3を満たす。	躯体・基礎の寿命90年

表3.7　「$Q_H2.1.2$ 外壁材、$Q_H2.1.3$ 屋根材、陸屋根」の採点結果とCO_2評価条件の対応表

レベル	基準	CO_2計算の条件
レベル1	耐用性が12年未満しか期待されない。	交換周期11年
レベル2	12～25年未満の耐用性が期待される。	交換周期18年
レベル3	25～50年未満の耐用性が期待される。	交換周期37年
レベル4	50～100年の耐用性が期待される。	交換周期75年
レベル5	（加点条件をみたせば選択可能）	レベル4と同じ

表3.8　「$Q_H2.2.2$ 維持管理の体制」の採点結果とCO_2評価条件の対応表

レベル	基準	CO_2計算の条件
レベル1	（該当するレベルなし）	―
レベル2	（該当するレベルなし）	―
レベル3	取組みなし。	上の交換周期を減ずる
レベル4	評価する取組み1～3のうち、1つに該当する。	上の交換周期のまま
レベル5	評価する取組み1～3のうち、2つ以上に該当する。	上の交換周期を延ばす

評価する取組み

No.	取組み
1	定期点検及び維持・補修・交換が適正時期に提供できる仕組みがある。
2	住まい手が適切な維持管理を継続するための、情報提供（マニュアルや定期情報誌など）や相談窓口などのサポートの仕組みがある。
3	住宅の基本情報（設計図書、施工記録、仕様部材リスト等）及び建物の維持管理履歴が管理され、何か不具合が生じたときに追跡調査できる。

「Q_H2.2.2 維持管理の体制」による交換周期の補正年数を下表に示す。

表3.9 「Q_H2.2.2 維持管理の体制」による外壁材、屋根材の耐用年数の補正

		Q_H2.2.2 維持管理の体制			加減年数
		レベル3	レベル4	レベル5	
Q_H2.1.2 Q_H2.1.3	レベル1	11年	11年	11年	なし
	レベル2	12年	18年	24年	6年
	レベル3	25年	37年	49年	12年
	レベル4	50年	75年	100年	25年
	レベル5	50年	75年	100年	25年

注釈）レベル1については屋根、外壁の瑕疵担保期間が10年義務化とされていることから、10年以下は設定せず、11年固定とした。

表3.10～3.15にそれぞれの条件における計算結果を整理して示す。この表の値が「建設」「修繕・更新・解体」それぞれのCO_2排出量となる。例えば、木造で、4つの採点項目が全てレベル3であれば、表3.10、表3.11より、「建設」「修繕・更新・解体」のCO_2排出量はそれぞれ「8.915」「3.023」となる。

このように、構法と4つの採点レベルが決まれば、この表から該当する値を選べばよいため、評価段階では煩雑な作業を一切避けている。

表3.10 木造の「建設」段階のCO_2排出量 （単位：kg-CO_2/年㎡）

Q_H2.1.1 躯体		
レベル3	レベル4	レベル5
8.915	4.457	2.972

表3.11 木造の「修繕・更新・解体」のCO_2排出量 （単位：kg-CO_2/年㎡）

		Q_H2.1.1 躯体								
		レベル3			レベル4			レベル5		
		Q_H2.2 維持管理の体制			Q_H2.2 維持管理の体制			Q_H2.2 維持管理の体制		
Q_H1.2 外壁	Q_H1.3 屋根	レベル3	レベル4	レベル5	レベル3	レベル4	レベル5	レベル3	レベル4	レベル5
レベル1	レベル1	5.197	5.197	5.197	7.259	7.259	7.259	8.336	8.336	8.336
	レベル2	5.197	4.662	4.127	7.259	6.722	6.722	8.336	7.799	7.622
	レベル3	4.127	4.127	4.127	6.455	6.455	6.187	7.622	7.266	7.266
	レベル4, 5	4.127	4.127	4.127	6.187	6.187	6.187	7.266	7.087	7.087
レベル2	レベル1	5.197	4.645	4.094	7.259	6.707	6.707	8.336	7.785	7.601
	レベル2	5.197	4.11	3.023	7.259	6.17	6.17	8.336	7.249	6.886
	レベル3	4.127	3.576	3.023	6.455	5.903	5.635	7.622	6.713	6.528
	レベル4, 5	4.127	3.576	3.023	6.187	5.635	5.635	7.266	6.535	6.349
レベル3	レベル1	4.094	4.094	4.094	6.431	6.431	6.154	7.601	7.232	7.232
	レベル2	4.094	3.558	3.023	6.431	5.895	5.62	7.601	6.696	6.518
	レベル3	3.023	3.023	3.023	5.628	5.628	5.084	6.886	6.161	6.161
	レベル4, 5	3.023	3.023	3.023	5.36	5.36	5.084	6.528	5.983	5.983

レベル 4, 5	レベル 1	4.094	4.094	4.094	6.154	6.154	6.154	7.232	7.048	7.048
	レベル 2	4.094	3.558	3.023	6.154	5.62	5.62	7.232	6.513	6.334
	レベル 3	3.023	3.023	3.023	5.351	5.351	5.084	6.518	5.977	5.977
	レベル 4, 5	3.023	3.023	3.023	5.084	5.084	5.084	6.161	5.799	5.799

※本表で「Q_H2.1.1 躯体」のレベルが上がるほど CO_2 排出量が増えているのは、躯体寿命が長いほど内外装・設備部材の「更新」の回数が増える、すなわち部材使用量が増えるためである。多くの場合は、「建設」段階を加えたトータルの排出量は「Q_H2.1.1 躯体」のレベルが上がるほど小さくなるが、躯体寿命の間に他の部材の交換回数が多すぎる場合は逆転することもある。これは他の構造においても同様である。

表3.12 鉄骨造の「建設」段階のCO_2排出量 （単位：kg-CO_2/年㎡）

Q_H2.1.1 躯体		
レベル3	レベル4	レベル5
15.051	7.526	5.018

表3.13 鉄骨造の「修繕・更新・解体」のCO_2排出量 （単位：kg-CO_2/年㎡）

		Q_H2.1.1 躯体								
		レベル3			レベル4			レベル5		
		Q_H2.2 維持管理の体制			Q_H2.2 維持管理の体制			Q_H2.2 維持管理の体制		
Q_H1.2 外壁	Q_H1.3 屋根	レベル 3	レベル 4	レベル 5	レベル 3	レベル 4	レベル 5	レベル 3	レベル 4	レベル 5
レベル 1	レベル 1	5.133	5.133	5.133	7.489	7.489	7.489	8.678	8.678	8.678
	レベル 2	5.133	4.581	4.03	7.489	6.938	6.938	8.678	8.127	7.944
	レベル 3	4.03	4.03	4.03	6.662	6.662	6.387	7.944	7.576	7.576
	レベル 4, 5	4.03	4.03	4.03	6.387	6.387	6.387	7.576	7.392	7.392
レベル 2	レベル 1	5.133	4.542	3.952	7.489	6.899	6.899	8.678	8.088	7.892
	レベル 2	5.133	3.99	2.847	7.489	6.347	6.347	8.678	7.535	7.155
	レベル 3	4.03	3.44	2.847	6.662	6.07	5.796	7.944	6.984	6.788
	レベル 4, 5	4.03	3.44	2.847	6.387	5.796	5.796	7.576	6.802	6.604
レベル 3	レベル 1	3.952	3.952	3.952	6.603	6.603	6.308	7.892	7.496	7.496
	レベル 2	3.952	3.398	2.847	6.603	6.052	5.757	7.892	6.944	6.761
	レベル 3	2.847	2.847	2.847	5.776	5.776	5.205	7.155	6.393	6.393
	レベル 4, 5	2.847	2.847	2.847	5.501	5.501	5.205	6.788	6.211	6.211
レベル 4, 5	レベル 1	3.952	3.952	3.952	6.308	6.308	6.308	7.496	7.299	7.299
	レベル 2	3.952	3.398	2.847	6.308	5.757	5.757	7.496	6.747	6.564
	レベル 3	2.847	2.847	2.847	5.48	5.48	5.205	6.761	6.197	6.197
	レベル 4, 5	2.847	2.847	2.847	5.205	5.205	5.205	6.393	6.013	6.058

表3.14　鉄筋コンクリート造の「建設」段階のCO_2排出量　　（単位：kg-CO_2/年㎡）

Q_H2.1.1　躯体		
レベル3	レベル4	レベル5
16.831	8.415	5.611

表3.15　鉄筋コンクリート造の「修繕・更新・解体」のCO_2排出量　　（単位：kg-CO_2/年㎡）

	Q_H2.1.1　躯体								
	レベル3			レベル4			レベル5		
	Q_H2.2 維持管理の体制			Q_H2.2 維持管理の体制			Q_H2.2 維持管理の体制		
Q_H1.3　屋根	レベル3	レベル4	レベル5	レベル3	レベル4	レベル5	レベル3	レベル4	レベル5
レベル1	3.267	3.267	3.267	5.117	5.117	5.117	5.777	5.777	5.777
レベル2	3.267	3.199	3.132	5.117	5.051	5.051	5.777	5.71	5.686
レベル3	3.132	3.132	3.132	5.016	5.016	4.983	5.686	5.644	5.644
レベル4, 5	3.132	3.132	3.132	4.983	4.983	4.983	5.644	5.622	5.622

(3)「居住」のCO_2排出量

まず省エネルギー地域区分ごとに、一般的な家庭における用途別（暖房、冷房、給湯、照明、家電、調理、換気）のエネルギー消費、および水消費に係るCO_2排出量を表3.16のように設定しておき（これを「計算のための基準値」と呼ぶ）、評価対象建物における取組みに応じて用途ごとのCO_2排出量を増減させて計算する。

なお、この増減の計算を行うにあたり、「居住」のCO_2排出量に関係する表3.17に示す13の採点項目をLR_H1の中から選び、計算条件として使用した。

表3.16　計算のための基準値　　（単位：kg-CO_2/年㎡）

地域区分	暖房	冷房	給湯	照明	家電	調理	換気	節水
Ⅰ	12.75	0.00	8.94	3.76	7.57	1.28	1.87	1.33
Ⅱ	8.66	0.04	10.77	3.76	7.86	1.33	1.95	1.38
Ⅲ	6.64	0.28	10.84	3.76	8.30	1.41	2.06	1.46
Ⅳ	3.61	0.85	10.13	3.76	8.34	1.41	2.06	1.46
Ⅴ	2.39	0.86	8.26	3.76	8.01	1.36	1.98	1.41
Ⅵ	0.00	2.20	6.11	3.76	7.86	1.33	1.95	1.38

表3.17　「居住」のCO_2排出量計算に使う採点項目

LR_H1　エネルギーと水を大切に使う	CO_2 排出量の計算への反映方法
1.1 建物の熱負荷抑制	暖房の省エネ度合いの設定に使用
1.2 自然エネルギー利用	暖冷房の省エネ度合いの設定に使用
2.1.1 暖房設備	暖房の省エネ度合いの設定に使用
2.1.2 冷房設備	冷房の省エネ度合いの設定に使用
2.2.1 給湯機器	給湯の省エネ度合いの設定に使用
2.2.2 浴槽の断熱	給湯の省エネ度合いの設定に使用
2.2.3 給湯配管	給湯の省エネ度合いの設定に使用
2.3 照明・家電・厨房機器	照明その他の省エネ度合いの設定に使用
2.4 換気設備	換気の省エネ度合いの設定に使用
2.5.1 家庭用ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ	暖房・給湯の省エネ度合いの設定に使用

2.5.2 太陽光発電システム	暖冷房、給湯、照明その他、換気の全ての省エネ度合いの設定に使用
3.1 節水型設備	節水度合いの設定に使用
3.2 節水の利用	節水度合いの設定に使用

以下に用途ごとのCO_2排出量の計算方法を示す。

① 暖房

暖房用途に関係する3つの採点項目の評価レベルにより消費率を求め、基準値に乗じることで求める。なお、「LR_H1.2.5.1 家庭用コージェネレーションシステム」がレベル4以上の評価の場合、「LR_H1.2.1.1 暖房設備」はレベル5としてCO_2排出量を計算する*。

暖房用途のCO_2排出量 ＝ LR_H1.1.1の消費率 × LR_H1.1.2の消費率
× LR_H2.1.1の消費率 × 暖房用途の基準値

表3.18 採点レベルと消費率の関係

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
LR_H1.1.1 建物の熱負荷抑制	150	125	100	-	69
LR_H1.1.2 自然エネルギー利用	(100-暖房エネルギー削減率)				
LR_H1.2.1.1 暖房設備	125	-	100	-	75

※ エコウィル(家庭用コージェネレーションシステム)は、ガス燃焼による発電と熱回収を行うシステムで、仮想閉空間の内部で完結するシステムである。このためエコウィル使用によるCO_2の評価のためには、使用するガスによる CO_2排出量と、発電する電力量により削減される CO_2排出量、排熱回収により削減される給湯・暖房の CO_2排出量を同時に考慮する必要がある。ただし、現時点ではその評価に必要な基礎データ公開が十分でなく、評価方法も定まっていない。そこで暫定的に発電による排熱回収分を考慮して給湯・暖房をそれぞれレベル5相当とみなしCO_2排出量を算出することとする。

※ 採点項目「LR_H1.1.2 自然エネルギー利用」では、レベル3およびレベル4の採点基準において、暖房あるいは冷房、いずれか一方に対するエネルギー削減にて評価しているが、CO_2 排出量の算出においては、暖房、冷房それぞれに対する削減効果を区別して算出することとした。評価ソフトもこれに従い、暖房、冷房別に削減率を選択入力する形となっている。ただし、参照値における CO_2 排出量の算出においては、便宜上、暖房、冷房双方にエネルギー削減効果を按分し、ともに消費率95を用いることとする。

② 冷房

冷房用途に関係する2つの採点項目の評価レベルにより消費率を求め、基準値に乗じることで求める。

暖房用途のCO_2排出量 ＝ LR_H1.1.2の消費率 × LR_H2.1.2の消費率
× 冷房用途の基準値

表3.19 採点レベルと消費率の関係

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
LR_H1.1.2 自然エネルギー利用	(100-冷房エネルギー削減率)				
LR_H1.2.1.2 冷房設備	125	-	100	-	75

③ 給湯

給湯用途に関係する３つの採点項目の評価レベルにより消費率を求め、基準値に乗じることで求める。なお、「LR_H1.2.5.1 家庭用コージェネレーションシステム」がレベル４以上の評価の場合、「LR_H1.2.2.1 給湯機器」はレベル５としてCO_2排出量を計算する。

給湯用途のCO_2排出量 ＝ LR_H1.2.2.1の消費率 × LR_H1.2.2.2の消費率
× LR_H1.2.2.3の消費率 × 給湯用途の基準値

表3.20 採点レベルと消費率の関係

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
LR_H1.2.2.1 給湯機器	117	-	100	83	71
LR_H1.2.2.2 浴槽の断熱	105	-	100	-	95
LR_H1.2.2.3 給湯配管	-	111	100	94	89

④ 照明、家電、厨房

照明、家電、厨房用途に関係する１つの採点項目の評価レベルにより消費率を求め、基準値に乗じることで求める。

照明、家電、厨房用途のCO_2排出量 ＝ LR_H1.2.3の消費率 ×（照明用途の基準値
＋ 家電用途の基準値 ＋ 厨房用途の基準値）

表3.21 採点レベルと消費率の関係

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
LR_H1.2.3 照明･家電･厨房機器	125	-	100	88	75

⑤ 換気

換気用途に関係する１つの採点項目の評価レベルにより消費率を求め、基準値に乗じることで求める。

換気用途のCO_2排出量 ＝ LR_H1.2.4の消費率 × 換気用途の基準値

表3.22 採点レベルと消費率の関係

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
LR_H1.2.4 換気設備	-	-	100	70	40

⑥ 水消費

水消費に関係する２つの採点項目の評価レベルにより消費率を求め、基準値に乗じることで求める。

水消費のCO_2排出量 ＝ LR_H1.3.1の消費率 × LR_H1.3.2の消費率
× 水の基準値

表3.23　採点レベルと消費率の関係

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
LR_H1.3.1 節水型設備	115	-	100	85	70
LR_H1.3.2 雨水の利用	-	-	100	99	90

⑦　太陽光発電システム

上記①から⑤までで求められたCO_2排出量の合計値に、「LR_H1.2.5.2 太陽光発電システム」で求めた省エネルギー率kを乗じた量が削減されるものとして計算する。

太陽光発電によるCO_2削減量　＝　①から⑤までのCO_2排出量の合計　×　省エネルギー率k

以上から、「居住」段階のCO_2排出量は次の式で計算される。

「居住」段階のCO_2排出量　＝　（暖房用途のCO_2排出量 ＋ 冷房用途のCO_2排出量
＋ 給湯用途のCO_2排出量 ＋ 照明、家電、厨房用途のCO_2排出量
＋ 換気用途のCO_2排出量）×（1 － k）
＋ 水消費のCO_2排出量

ただし、k ≧ 1 の場合は、次の式で計算される。

「居住」段階のCO_2排出量　＝　水使用のCO_2排出量

(4) ライフサイクルCO_2排出量とスコアへの換算方法

(2) で求めた「建設」「修繕・更新・解体」のCO_2排出量と、(3) で求めた「居住」のCO_2排出量の合計値が、評価対象建物のライフサイクルCO_2排出量となる。一方、表3.5と表3.17に示される17の採点項目全てをレベル3として計算した結果が、一般的な住宅のライフサイクルCO2排出量（「参照値」と呼ぶ）となる。

「LR_H3.1 地球温暖化への配慮」の評価は、この参照値と評価対象建物の排出量の比（「排出率」と呼ぶ）の大きさで評価する。このとき、表3.24に示すとおり排出率が100%であればレベル3、75%以下であればレベル5、125%以上であればレベル1となる。また、以上を式で示すと次式となる。

排出率　＝　評価対象建物の排出量 ／ 参照値
LR_H3.1のレベル　＝　－0.08 × 排出率 ＋ 11

表3.24　「LR_H3.1 地球温暖化への配慮」の評価レベル

レベル	基準
レベル1 ～ レベル5	本採点項目のレベルはライフサイクル CO_2 の排出率を1～5に換算した値(小数第1位まで)で表される。 なお、レベル1、3、5は以下の排出率で定義される。 レベル1 ： ライフサイクル CO_2 排出率が、一般的な住宅(参照値)に対して125%以上 レベル3 ： ライフサイクル CO_2 排出率が、一般的な住宅(参照値)と同等 レベル5 ： ライフサイクル CO_2 排出率が、一般的な住宅(参照値)に対して75%以下

なお、LR_H3.1のレベルはそのままの値でスコアSLR_H3.1となる。

(5) 評価ソフトの「CO2計算」「CO2データ」シート

以上の計算過程は、評価ソフトの「CO2計算」シートで確認することができる。シートは「ライフサイクルCO2計算シート（標準計算用）」と「ライフサイクルCO2計算シート（地域電力別計算用）」に分かれている。以下に、「ライフサイクルCO2計算シート（標準計算用）」の内容を概説する。

1．建設に係るCO_2排出量

図3.7に画面例を示す。図の左側には「建設」に係る採点項目が示され、図の中心に各レベルに応じたCO_2排出量の一覧が、図の右側に「評価対象」と「参照値」それぞれの「採点結果」と「CO_2排出量」が示される。CO_2排出量の一覧は、「評価対象」の各採点項目のレベルに応じて、「CO2データ」シートのデータベースより自動的に抽出される。

この例では、「Q_H2.1.1 躯体」が木質系のレベル5（「構造の比率」は採点シートの「Q_H2.1.1 躯体」における入力値が自動的に設定される。本例は「木質系」の単構造。）、「Q_H2.1.2 外壁材」と「Q_H2.1.3 屋根材、陸屋根」がともにレベル4、「Q_H2.2.2 維持管理の体制」がレベル5である。この組合せに応じた「評価対象」のCO_2排出量は2.97kg-CO_2/年㎡となる。一方、「参照値」は全てレベル3であり、このときの木質系のCO_2排出量は8.92kg-CO_2/年㎡となる。

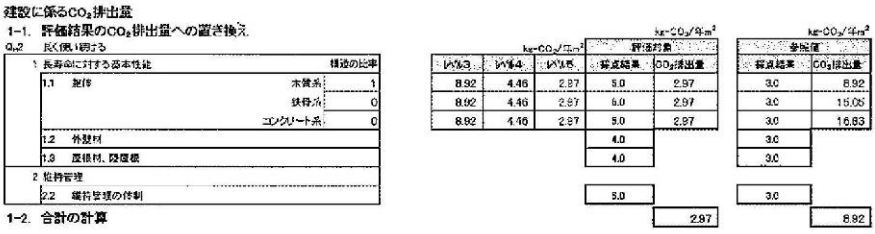


図3.7　「CO2計算」シートの「建設に係るCO_2排出量」画面例

2．修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

画面の構成は「建設」と同じである。、「Q_H2.1.1 躯体」が木質系のレベル5、「Q_H2.1.2 外壁材」と「Q_H2.1.3 屋根材、陸屋根」がともにレベル4、「Q_H2.2.2 維持管理の体制」がレベル5の組み合わせのCO_2排出量がデータベースより選ばれる。本例では「評価対象」は5.80kg-CO_2/年㎡、「参照値」は3.02kg-CO_2/年㎡となる。

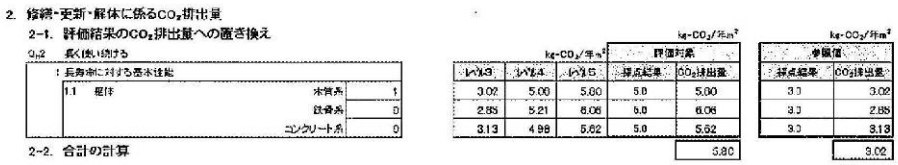


図3.8　「CO2計算」シートの「修繕・更新・解体に係るCO_2排出量」画面例

3．居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

図3.9に画面例を示す。まず、「3-1.評価結果の消費率への置き換え」では、関連する採点項目のレベルを消費率に置き換えた結果が示される。次に「3-2.用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算」で、用途別の消費率とCO_2排出量の計算結果が示される。最後に「3-3.合計の計算」で全用途のCO_2排出量を合計し、太陽光発電分を調整した結果が、居住時のエネルギーに係るCO_2排出量として

示される。

4．ライフサイクルCO_2の計算

以上で計算された「建設」「修繕・更新・解体」「居住時」のCO_2排出量を、「評価対象」「参照値」それぞれで合計した結果をライフサイクルCO_2として示す。この欄に示される結果から「LR_H3.1 地球温暖化への配慮」が評価され、また「結果」シートの温暖化影響チャートが示される。

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_N すばらしい環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	-	85%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	96%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	-	100%	-	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	-	100%	-	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	-	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	-	100%	-	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	-	111%	100%	94%	85%	4.0	94%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	-	100%	85%	75%	4.0	88%	3.0	100%
2.4 換気設備	-	-	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.1		0.0	
3 水の有効									
3.1 節水型設備	115%		100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	-	-	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m²)	用途別消費率	評価対象 CO_2換算値 (kg-CO_2/年m²)	用途別消費率	参照値 CO_2換算値 (kg-CO_2/年m²)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	90%	3.24	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	100%	0.85	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	94%	9.57	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	88%	3.29	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	88%	7.30	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	88%	1.24	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	85%	1.25	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 (kg CO_2/年m²)	参照値 (kg CO_2/年m²)
合計（Σ(用途別基準値×用途別削減率)）	31.63	28.80	31.41
太陽光発電システムでの削減量（基準値合計×削減率）		3.04	0.00
総計（合計−太陽光発電）		25.75	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO2/年m2)	参照値 (kg-CO2/年m2)
建設	2.97	8.82
修繕・更新・解体	6.89	3.02
居住	25.75	31.41
合計	35.61	43.34

図3.9　「CO2計算」シートの「居住時のエネルギーに係るCO_2排出量」「ライフサイクルCO_2の計算」の画面例

2.4　評価方法に関する補足

(1)「建設」「修繕・更新・解体」の計算条件

「建設」「修繕・更新・解体」のCO_2排出量計算に用いた「標準モデル住宅」、および計算条件を示す。

① 「建設」の計算方法

「標準モデル住宅」のプランは日本建築学会の標準問題モデルとした。図3.10に平面図を示す。このプランを、木造（在来木造）、鉄骨造（重量鉄骨造）、鉄筋コンクリート造（壁式工法）、それぞ

れについて現在一般的に使われる仕様を設定し、部材拾いを行った。詳しい図面、仕様については「PartⅢ 3.2 評価のための参考資料（参考資料４）」に示す。

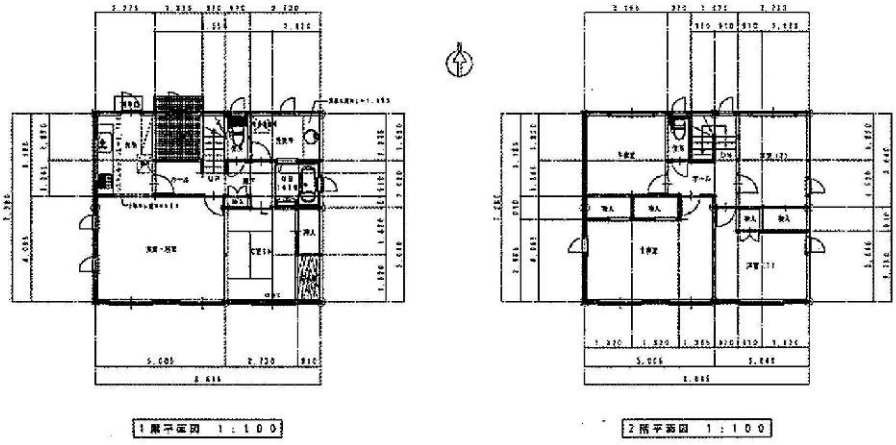


図3.10　標準モデル住宅のプラン

次に全構成部材について重量を調査し、日本建築学会公表の1995年産業連関分析に基づくCO_2排出原単位（国内消費支出分のみ）を用いてCO_2排出量に換算した。これを全て積算した値に、同じく日本建築学会公表の1995年建設部門分析用産業連関表を利用した工事分倍率を用いて施工段階のCO_2排出量を加算し、年・床面積あたりの値に換算した結果が、「建設」段階のCO_2排出量となる※。

※CASBEE-すまい（戸建）ではCO_2の単位として、ライフサイクルの総量ではなく、年・床面積あたりの排出量（kg-CO_2/年㎡）を用いている。まず、床面積あたりとした理由は、評価対象住宅とは床面積が異なるモデル住宅で計算を行っているためである。床面積あたりに換算することで規模の影響をできるだけ排除した。また、年あたりとした理由は、寿命が異なる建物を比較するときに、ライフサイクルの総量では建物寿命が長いほど部材交換回数が増え、この結果CO_2排出量が増えることを防ぐためである（参照値は30年寿命で計算される）。

② 「修繕」の計算方法

ほぼ全ての部材の修繕率を１％/年と設定した。これは、部材製造に係るCO_2排出量の１％が「修繕」に係る分として毎年排出されることを意味する。全ての部材についてそれぞれの製造段階のCO_2排出量に修繕率を乗じた値を積算し、床面積あたりの値に換算した結果が「修繕」段階のCO_2排出量となる。

③ 「更新」の計算方法

各部材の耐用年数を設定し（外壁材・屋根材はQ_H2の採点レベルに応じた年数、その他は、概ね、外装材・内装下地材・設備が30年、内装仕上材が15年）、建物寿命を30年、60年、90年とした場合の、それぞれの部材交換周期を求めた。これを元に、それぞれの建物寿命内における全ての交換部材分のCO_2排出量を積算し、年・床面積あたりの値に換算した結果が「更新」段階のCO_2排出量となる。

④　「解体」の計算方法

全構成部材が解体材として発生し、処理施設まで４ｔトラックで30km輸送されると想定したときの燃料消費に伴うCO_2排出量を計算し、年・床面積あたりの値に換算した結果が「解体」段階のCO_2排出量となる。

(2)「居住」の計算条件

「居住」のCO_2排出量計算の基本的な部分は「自立循環型住宅への設計ガイドライン」（IBEC）（以下、「自立ガイドライン」と呼ぶ）に準じた。自立ガイドラインにはⅣ地域における標準的な住宅の用途別CO_2排出量が示されており、これを表3.16に示す「各用途ごとのCO_2排出量の基準値」のⅣ地域の値として設定した。Ⅳ地域以外については、NEDO技術開発機構が公開している「住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業における一次エネルギー消費量算出条件（H18年度）」の戸建住宅の地域・用途別エネルギー消費量（「PartⅡ 3.3 採点基準」の「LR_H1.2.5.2 太陽光発電システム」の表2.6参照）の比率に応じて、前出のⅣ地域のCO_2排出量を補正することで求めた※1。また、自立ガイドラインには示されていない水消費については東京都水道局のデータを引用した。

表3.18～3.23に示す各採点レベルの消費率への置き換えについても、基本的には自立ガイドラインに基づき行っている。ただし、CASBEE-すまい（戸建）の採点基準のレベルと自立ガイドラインに示されている取組みレベルとは必ずしも一致せず、完全には整合がとれていない。このような場合と、自立ガイドラインに示されていない水消費については、既往の研究論文などを参考に独自に消費率を設定した。

なお、「居住」のCO_2排出量は「建設」「修繕・更新・解体」で用いた日本建築学会の公開値とは異なり、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令に示されている0.555kg-CO_2/kWhを用いた計算を基本とする※2。

※１　自立ガイドラインに掲載されているCO_2排出量は、オール電化住宅を想定したある一棟のケーススタディ結果である。一方、地域補正に用いた値は一次エネルギー消費量であり、かつ、電気に限らずガス・灯油などを含む統計データである。現段階ではこのようなデータが十分に整備されていないことから、暫定的に本手法により補正を行った。今後の検討課題とする。

※２　自立ガイドラインのCO_2排出量の計算では、電気の排出係数は旧地球温暖化対策の推進に関する法律施行令の0.378kg-CO_2/kWhを用いている。表3.16は、これを0.555kg-CO_2/kWhに換算しなおした値である。

(参考)「居住」の計算に使われる各採点項目のライフサイクルCO_2に対する感度

上記の計算条件による「居住」のCO_2排出量について、関連する採点項目のレベルによる感度を図3.11に示す。図中の比率は、レベル３（参照値）との排出量の差の、ライフサイクルCO_2排出量全体に対する比率である。

用途	対象とする採点項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
暖房	LR_H1.1.1建物の熱負荷抑制	3.7%	1.9%	0.0%	—	−2.3%
	LR_H1.1.2自然エネルギー利用	0.8%	—	0.0%	−0.8%	−0.8%
	LR_H1.2.1.1暖房設備	1.9%	—	0.0%	—	−1.9%
	トータル感度	8.1%	◀	―	―	▶ −4.1%
冷房	LR_H1.1.2自然エネルギー利用	0.2%	—	0.0%	−0.2%	−0.2%
	LR_H1.2.1.2冷房設備	0.4%	—	0.0%	—	−0.4%
	トータル感度	0.7%	◀	―	―	▶ −0.6%
換気	LR_H1.2.4換気設備	—	—	0.0%	−1.4%	−2.9%
給湯	LR_H1.2.2.1給湯機器	—	3.9%	0.0%	−3.9%	−6.8%
	LR_H1.2.2.2浴槽の断熱	1.2%	—	0.0%	—	−1.2%
	LR_H1.2.2.3給湯配管	—	2.6%	0.0%	−1.3%	−2.6%
	トータル感度	8.5%	◀	―	―	▶ −9.4%
照明家電厨房機器	LR_H1.2.3照明・家電・厨房機器	7.8%	—	0.0%	−3.9%	−7.8%
コジェネ	LR_H2.5.1家庭用コージェネレーションシステム	—	—	0.0%	−8.7%	−8.7%
			*暖房・給湯用途の関連他項目をレベル3とした単独感度			
水	LR_H1.3.1節水型設備	0.5%	—	0.0%	−0.5%	−1.0%
	LR_H1.3.2雨水の利用	—	—	0.0%	0.0%	−0.3%
	トータル感度	—	—	0.0%	−0.5%	−1.2%

図3.11　ライフサイクルCO_2に対する排出比率の感度（「木造」の例）

2.5　標準計算と地域電力別計算

以上で説明した方法がCASBEE-すまい(戸建)における標準的な計算方法であり、これを「標準計算」と呼ぶ。LR_H3.1の評価、およびBEE_Hの計算はこの方法のみで行われる。一方で、「居住」の電気の排出係数を0.555kg-CO_2/kWh以外の数値に変更した場合の計算を「地域電力別計算」と呼ぶ。

すまいのライフサイクルCO_2では「建設」「修繕・更新・解体」に比べて「居住」の占める割合が大きいことが多いため、「居住」の計算に用いる電気の排出係数の影響が大きくなる。ここで、「標準計算」で用いている値0.555kg-CO_2/kWhは、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」による電気の使用に伴う温室効果ガス排出量の算定方法（法第21条の２第２項）に示されている「電気の排出係数」のうち、「使用している電気の排出係数がわからない場合」の数値であり、各電力会社の電気の排出係数とは異なる。電力会社によっては公表値がこの値よりも相当小さい場合があり、この場合、CO_2排出量の絶対量に無視できない誤差が生じることになる。

このため、地域の電力会社の公表値に基づくCO_2排出量を知りたいユーザーのために、異なる電気排出係数を用いて計算できる「地域電力別計算」を用意した。具体的な計算方法は、「2.3 (3)「居住」のCO_2排出量」で示した式の「水消費」以外の排出量を補正することである。

「居住」段階のCO_2排出量　＝　（暖房用途のCO_2排出量 ＋ 冷房用途のCO_2排出量
＋ 給湯用途のCO_2排出量 ＋ 照明、家電、厨房用途のCO_2排出量
＋ 換気用途のCO_2排出量）×（1　－ k）
× （使用する電気の排出係数 ／ 0.555）
＋ 水消費のCO_2排出量

評価ソフトでは、「CO2計算」シートで電気のCO_2排出係数が選べるようになっており、ここで「標

準」（0.555kg-CO_2/kWh）以外を選んだ場合は、「結果」シートの温暖化影響チャートに「地域電力別計算」の結果が示されることになる。このとき、「地域電力別計算」であることが一目で分かるようにチャートの背景色が変わり、チャート上部に「※地域電力別計算」と明示される仕組みとした。

なお、前述のとおり、この場合でもLR_H3.1およびBEE_Hは「標準計算」で行われる。

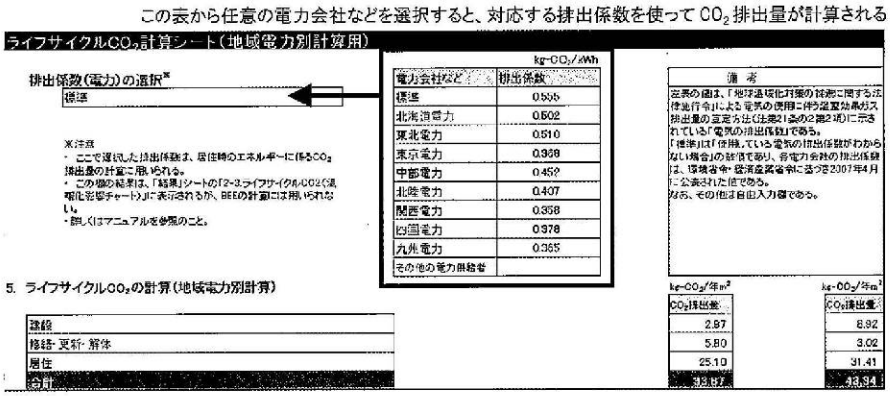


図3.12　評価ソフトの「CO2計算」シート（地域電力別計算用）

2.6　注意点

以上に示すとおり、CASBEEファミリー全体の根本思想である、使いやすさを重視する観点から、本計算も相当簡易化した方法を用いている。このため、その精度は必ずしも高いとはいえない。特に、CO_2排出量の絶対量が示される評価ソフトの「温暖化影響チャート」を見る場合は、このことを十分に認識する必要がある。しかし、すまいではCO_2排出量のおよその値やその削減効果が一般消費者のみならず、住宅供給者にもほとんど知られていない現状から、まずはおおまかな値でも示すことが重要と考えた。

なお、何らかの対策による削減効果を評価する場合の電気の排出係数については、上記の考え方の他、「影響を受けると想定できる電源」により評価する考え方もある（「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」（平成19年６月環境省・経済産業省））。したがって、削減効果を評価する際の、電気の排出係数の扱いについては、CASBEEシリーズ全体の課題として、引き続き、検討していく。

資料３　ＣＡＳＢＥＥ　構造別・地域別・基準別タイプ別ＬＣＣＯ$_2$排出量の算出

・木造--Ｉ地域-S55

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）　■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55W_Ｉ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ｉ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

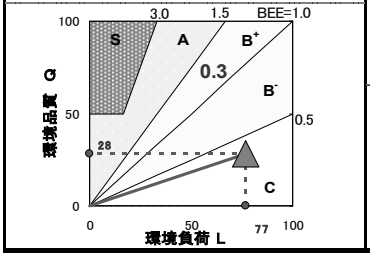
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外　観

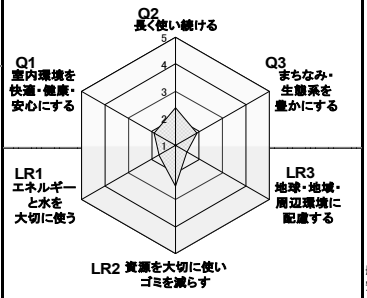
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

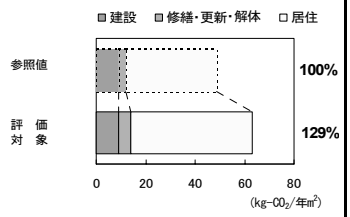
S: ★★★★★　A: ★★★★　B$^+$: ★★★　B$^-$: ★★　C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO$_2$(温暖化影響チャート)

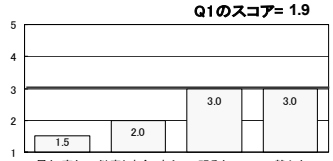


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

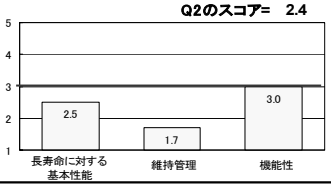
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　*Q のスコア=　2.1*

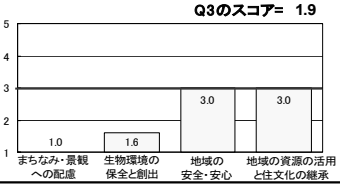
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

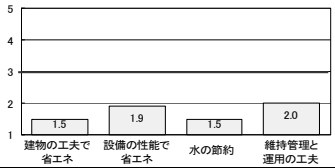


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

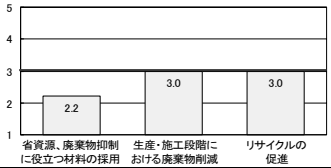


LR 環境負荷低減性　　*LR のスコア=　1.9*

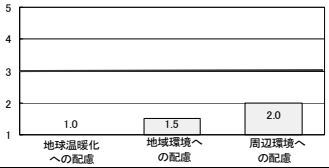
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO_2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55W_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			kg-CO_2/年m^2 評価対象		kg-CO_2/年m^2 参照値	
		構造の比率	レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象	参照値
	8.92	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			kg-CO_2/年m^2 評価対象		kg-CO_2/年m^2 参照値	
			レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象	参照値
	5.20	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	156%	19.93	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	125%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	111%	9.94	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	125%	9.47	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	125%	1.61	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	100%	1.87	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	115%	1.53	100%	1.33

3-3. 合計の計算

		kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	49.04	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		49.04	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
建設	8.92	8.92
修繕・更新・解体	5.20	3.02
居住	49.04	36.88
合計	**63.16**	**48.82**

・木造--Ⅰ地域-H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4W_Ⅰ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ⅰ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

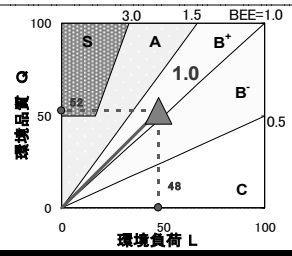
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

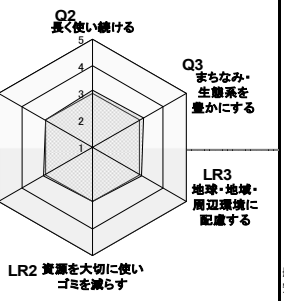
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

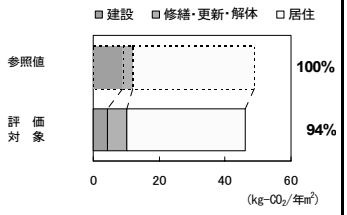
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

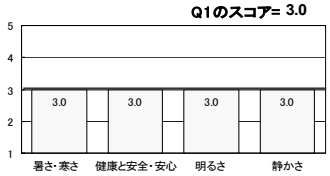


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

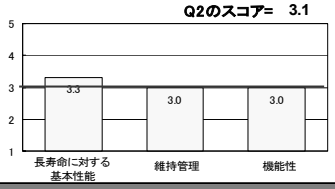
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

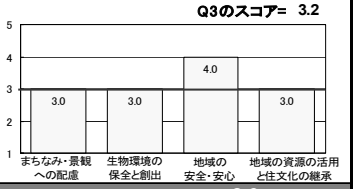
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

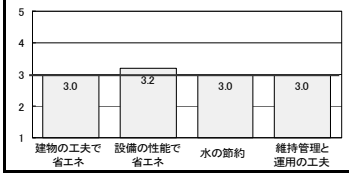


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

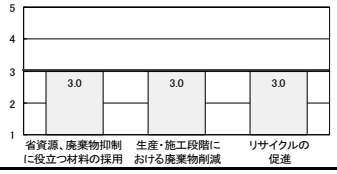


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

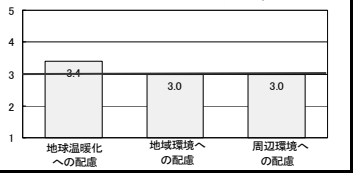
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4W_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			評価対象 kg-CO_2/年m^2		参照値 kg-CO_2/年m^2	
		構造の比率	レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
4.46	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			評価対象 kg-CO_2/年m^2		参照値 kg-CO_2/年m^2	
			レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.63	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	100%	12.75	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	90%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	83%	7.45	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	100%	7.57	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	100%	1.28	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	100%	1.87	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	100%	1.33	100%	1.33

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	36.03	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		36.03	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	4.46	8.92
修繕・更新・解体	5.63	3.02
居住	36.03	36.88
合計	**46.12**	**48.82**

・木造--Ⅰ地域-H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11W_Ⅰ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ⅰ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

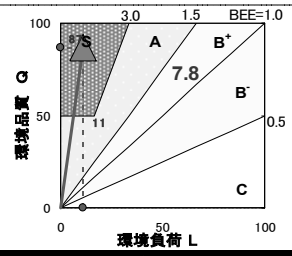
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

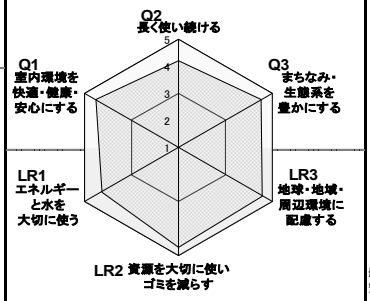
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

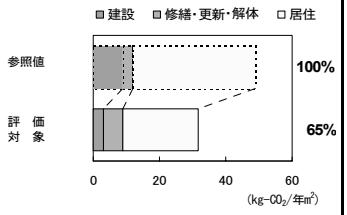
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

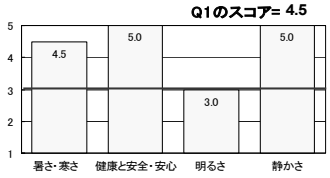


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

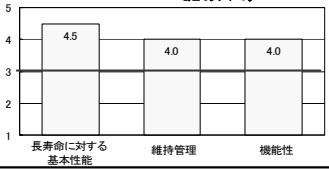
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

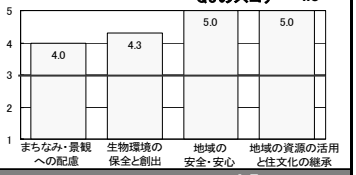
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

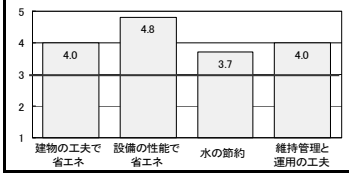


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

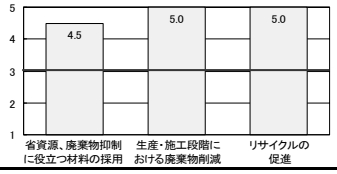


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.5

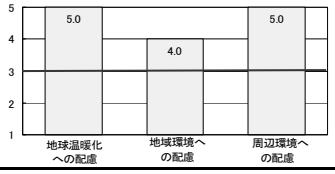
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.7



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11W_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m² レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	1	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					4.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
	2.97	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	CO_2排出量	参照値 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	1	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
	5.98	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m²	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m²	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m²
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	46%	5.92	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	68%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	60%	5.33	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	75%	5.68	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	75%	0.96	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	40%	0.75	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	85%	1.13	100%	1.33

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	22.60	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		22.60	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
建設	2.97	8.92
修繕・更新・解体	5.98	3.02
居住	22.60	36.88
合計	**31.55**	**48.82**

・木造--Ⅱ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55W_Ⅱ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

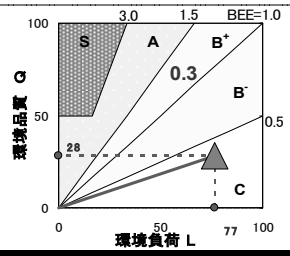
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

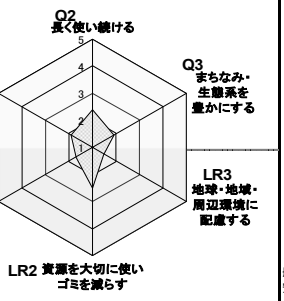
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

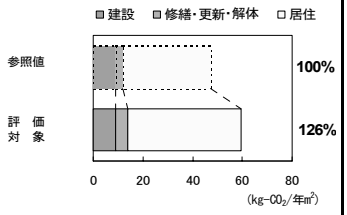
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

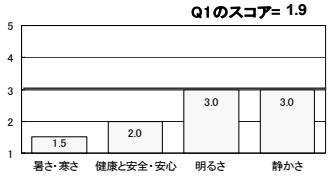


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

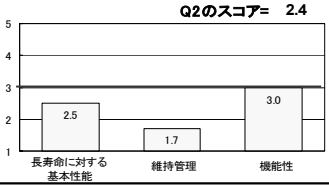
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

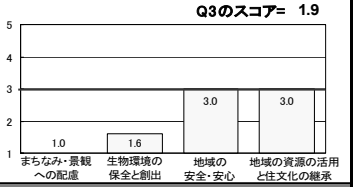
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

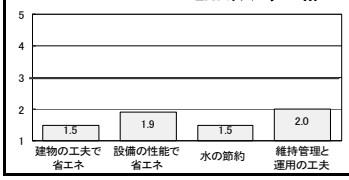


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

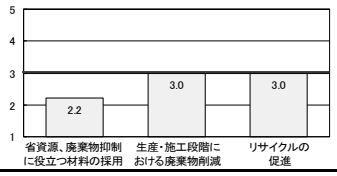


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

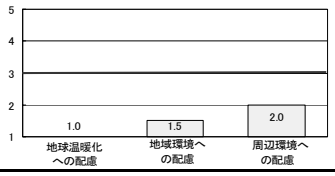
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55W_Ⅱ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			kg-CO_2/年m^2 評価対象		kg-CO_2/年m^2 参照値	
		構造の比率	レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象	参照値
	8.92	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			kg-CO_2/年m^2 評価対象		kg-CO_2/年m^2 参照値	
			レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象	参照値
	5.20	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	156%	13.54	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	125%	0.05	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	111%	11.97	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	125%	9.83	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	125%	1.67	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	115%	1.59	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	45.29	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		45.29	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
建設	8.92	8.92
修繕・更新・解体	5.20	3.02
居住	45.29	35.33
合計	59.40	47.26

・木造--Ⅱ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4W_Ⅱ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

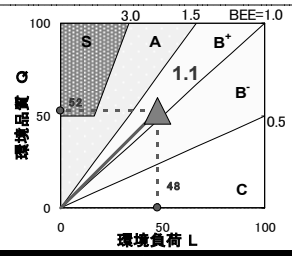
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

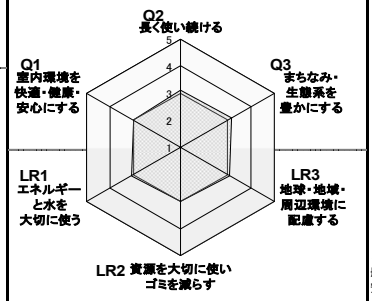
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

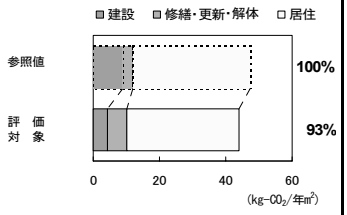
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

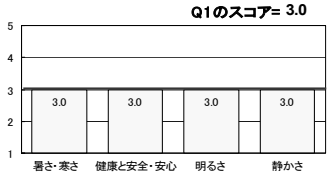


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

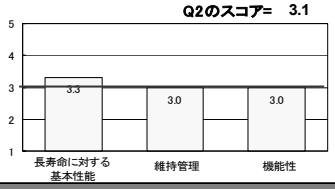
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

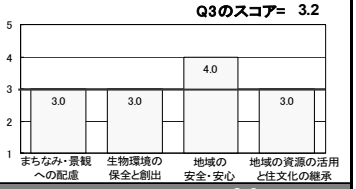
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

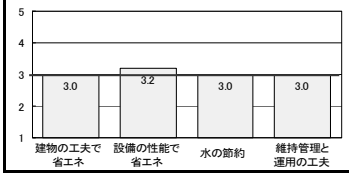


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

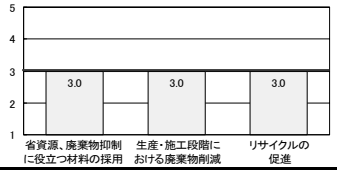


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

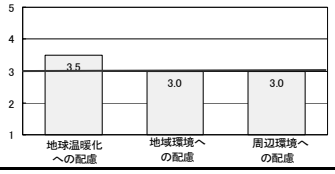
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4W_II

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m² レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
4.46	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m² レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
5.63	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m² 基準値	用途別消費率	CO_2換算値	用途別消費率	CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	100%	8.66	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	90%	0.04	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	83%	8.97	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	100%	7.86	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	100%	1.33	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	100%	1.38	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	33.96	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		33.96	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
建設	4.46	8.92
修繕・更新・解体	5.63	3.02
居住	33.96	35.33
合計	44.05	47.26

・木造--Ⅱ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11W_Ⅱ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
〈備考〉		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

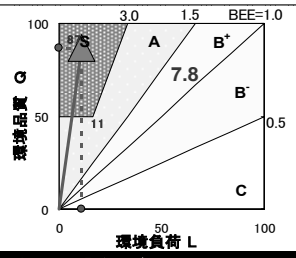
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

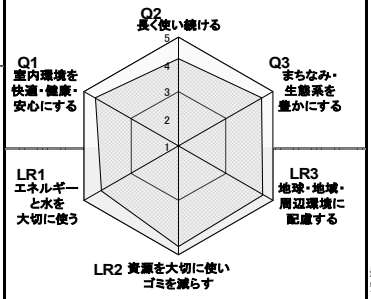
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

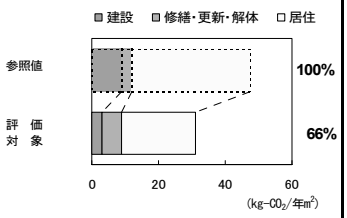
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

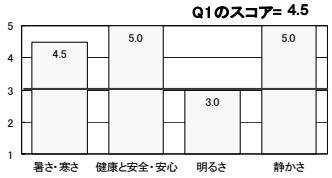


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO_2排出量の目安で示したものです

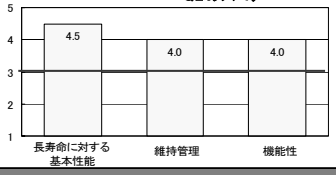
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

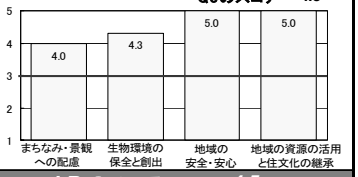
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

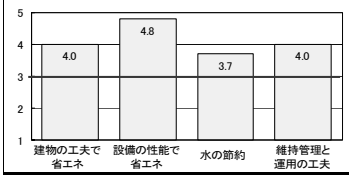


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

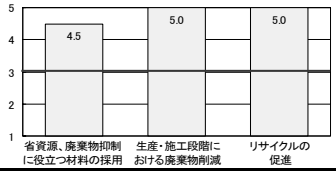


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.5

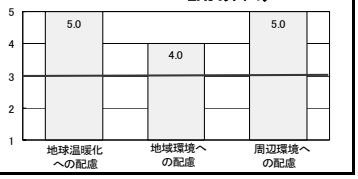
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.7



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCO_2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11W_II

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
2.97	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
5.98	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	46%	4.02	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	68%	0.03	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	60%	6.42	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	75%	5.90	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	75%	1.00	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	40%	0.78	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	85%	1.17	100%	1.38

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	22.14	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		22.14	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	2.97	8.92
修繕・更新・解体	5.98	3.02
居住	22.14	35.33
合計	**31.10**	**47.26**

・木造--Ⅲ地域-S55

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55W_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

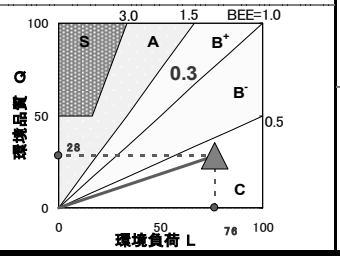
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

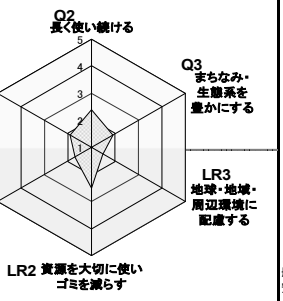
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

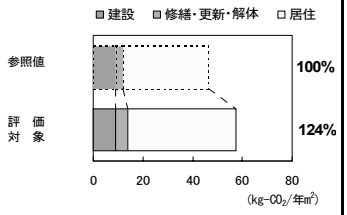
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

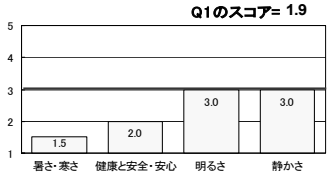


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

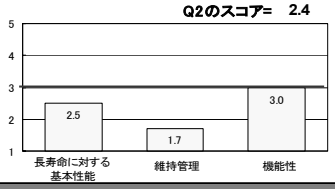
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

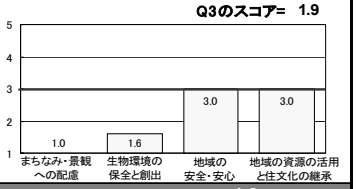
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

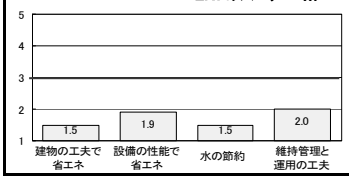


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

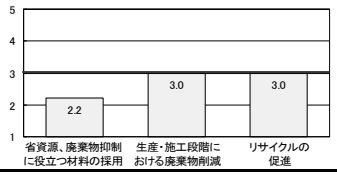


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

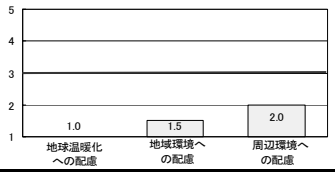
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55W_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
8.92	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
5.20	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	156%	10.38	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	125%	0.35	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	111%	12.04	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	125%	10.38	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	125%	1.76	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	115%	1.68	100%	1.46

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	43.34	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		43.34	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	8.92	8.92
修繕・更新・解体	5.20	3.02
居住	43.34	34.40
合計	57.45	46.34

・木造--Ⅲ地域-H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4W_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
〈備考〉		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

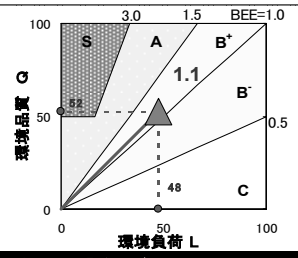
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

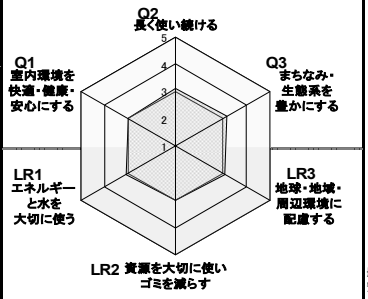
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

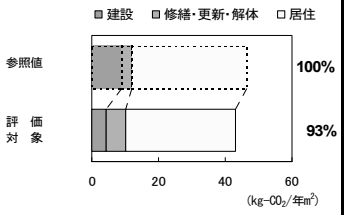
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

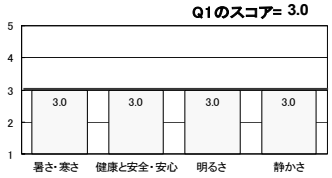


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO_2排出量の目安で示したものです

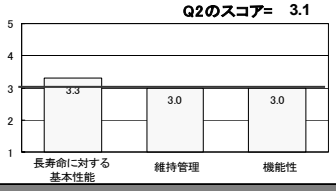
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

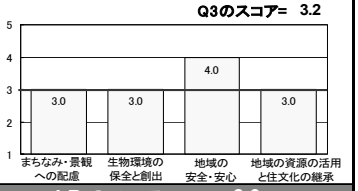
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

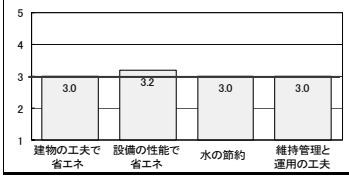


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

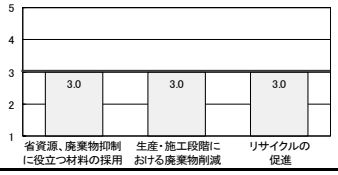


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

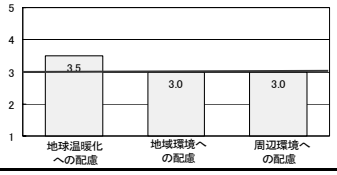
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCO_2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4W_III

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	1	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					3.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					3.0		3.0	
1-2. 合計の計算						4.46		8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	1	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13
2-2. 合計の計算						5.63		3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	100%	6.64	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	90%	0.25	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	83%	9.03	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	100%	8.30	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	100%	1.41	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	100%	1.46	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	32.91	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		32.91	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	4.46	8.92
修繕・更新・解体	5.63	3.02
居住	32.91	34.40
合計	43.00	46.34

・木造--Ⅲ地域-H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11W_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

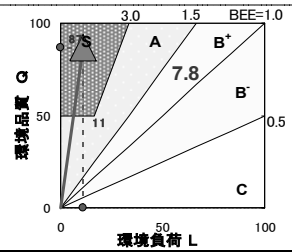
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

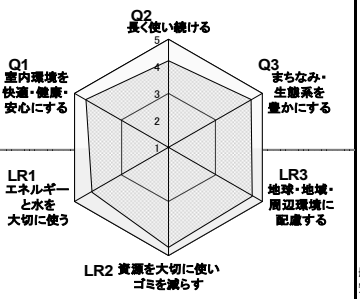
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

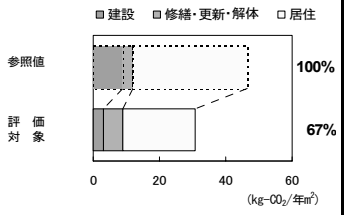
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

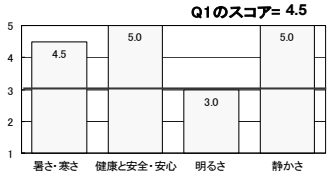


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

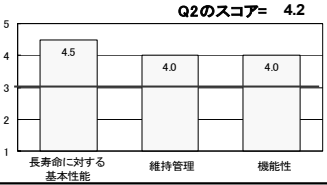
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

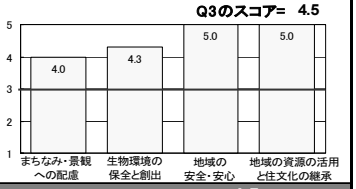
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

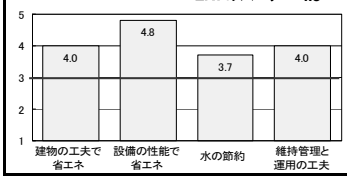


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

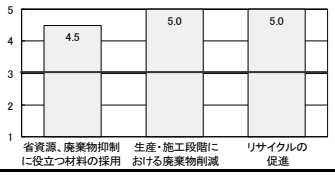


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.5

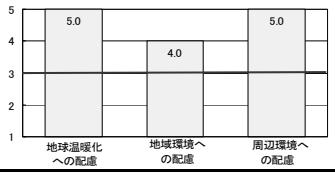
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.7



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11W_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
2.97	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体	木質系 1	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系 0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系 0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
5.98	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	46%	3.08	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	68%	0.19	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	60%	6.46	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	75%	6.23	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	75%	1.06	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	40%	0.82	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	85%	1.24	100%	1.46

3-3. 合計の計算

	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	21.90	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		21.90	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	2.97	8.92
修繕・更新・解体	5.98	3.02
居住	21.90	34.40
合計	30.86	46.34

・木造--Ⅳ地域-S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55W_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

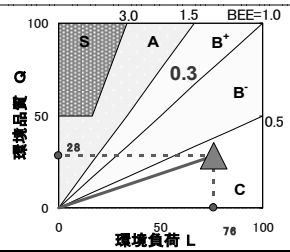
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

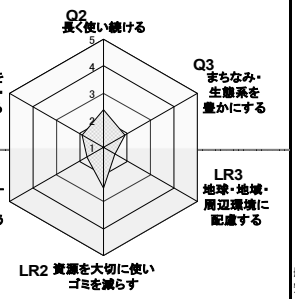
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

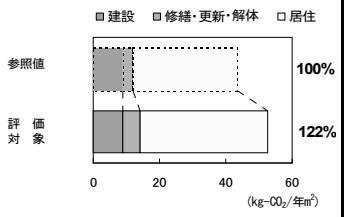
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

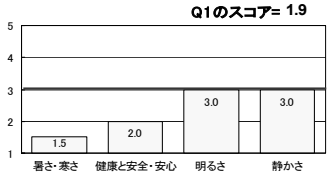


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

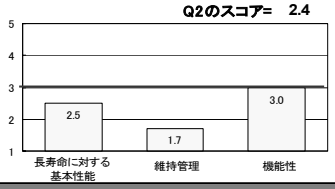
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

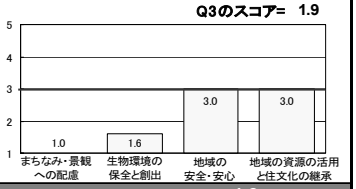
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

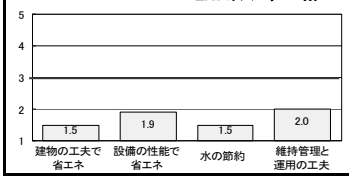


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

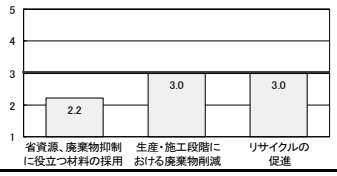


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

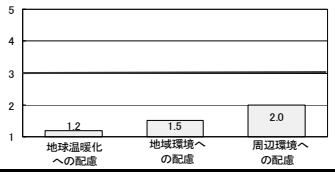
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55W_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m² レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m² 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
8.92	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	CO_2排出量	参照値 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
5.20	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m²	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m²	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m²
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	156%	5.63	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	125%	1.06	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	111%	11.25	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	125%	10.42	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	125%	1.77	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	115%	1.68	100%	1.46

3-3. 合計の計算

	基準値 kg-CO_2/年m²	評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	38.59	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		38.59	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m²	参照値 kg-CO_2/年m²
建設	8.92	8.92
修繕・更新・解体	5.20	3.02
居住	38.59	31.41
合計	**52.71**	**43.34**

・木造−Ⅳ地域−H4

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4W_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

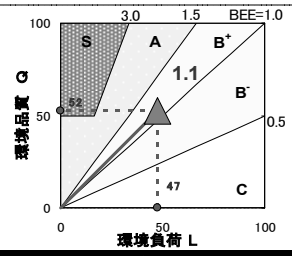
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

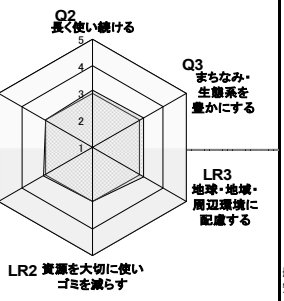
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

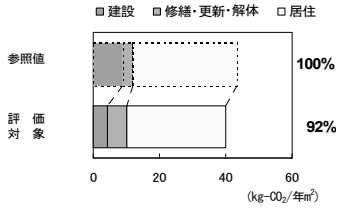
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

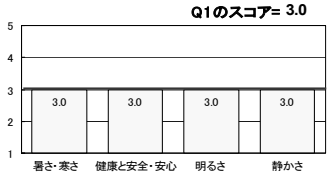


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

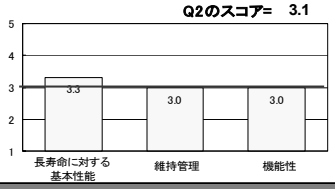
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　*Q のスコア= 3.0*

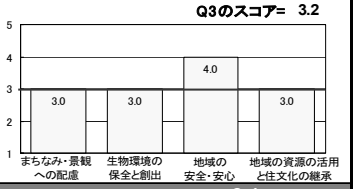
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

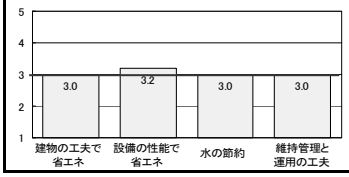


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

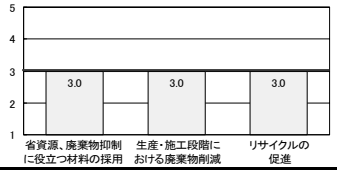


LR 環境負荷低減性　　*LR のスコア= 3.1*

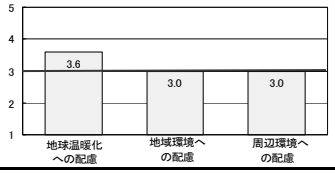
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4W_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象	参照値
4.46	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象	参照値
5.63	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	100%	3.61	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	90%	0.76	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	83%	8.44	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	100%	8.34	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	100%	1.41	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	100%	1.46	100%	1.46

3-3. 合計の計算

	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	29.86	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		29.86	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	4.46	8.92
修繕・更新・解体	5.63	3.02
居住	29.86	31.41
合計	39.94	43.34

・木造--Ⅳ地域-H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11W_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

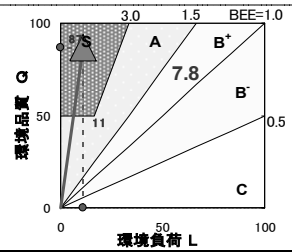
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

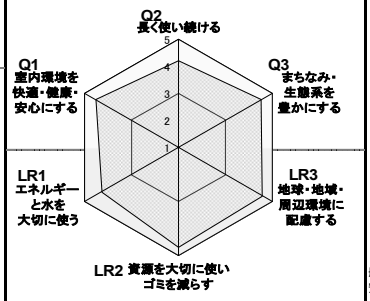
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

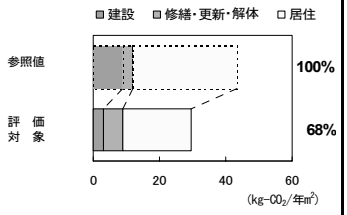
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

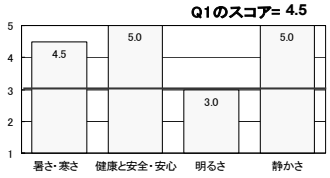


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

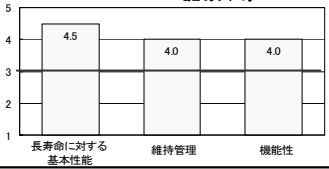
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

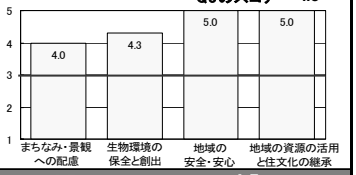
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

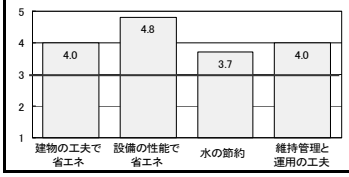


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

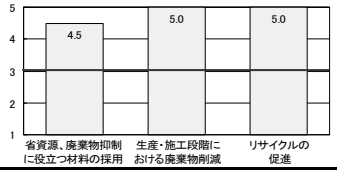


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.5

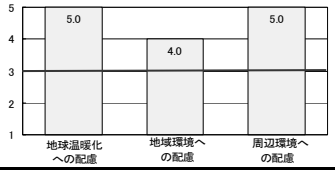
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.7



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11W_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	2.97	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.98	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	46%	1.67	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	68%	0.57	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	60%	6.04	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	75%	6.25	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	75%	1.06	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	40%	0.83	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	85%	1.25	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	20.50	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		20.50	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	2.97	8.92
修繕・更新・解体	5.98	3.02
居住	20.50	31.41
合計	29.45	43.34

・木造--Ｖ地域-S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55W_V	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

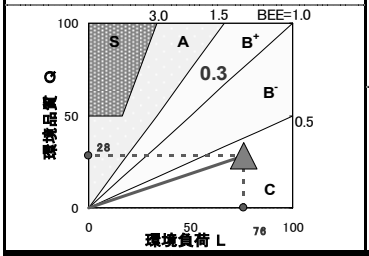
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

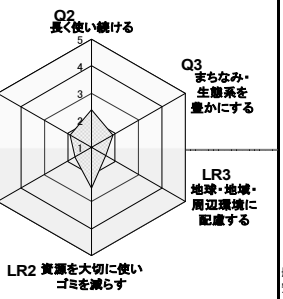
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

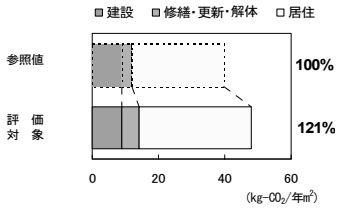
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

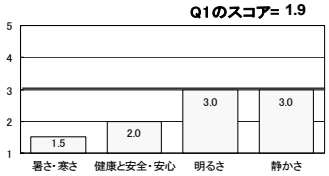


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

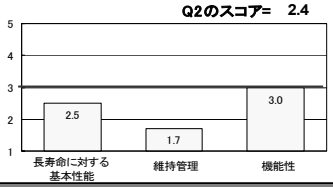
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

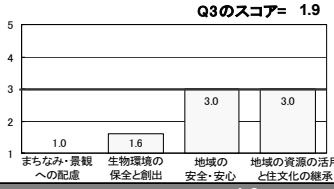
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

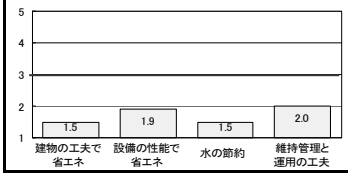


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

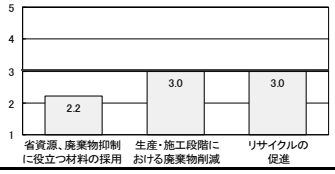


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

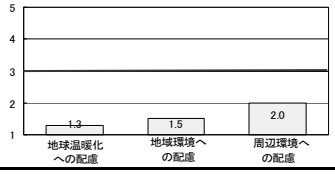
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.6



3 設計上の配慮事項

総合	その他

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		

LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55W_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象	参照値
8.92	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象	参照値
5.20	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	156%	3.73	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	125%	1.07	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	111%	9.17	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	125%	10.01	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	125%	1.70	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	100%	1.98	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	115%	1.62	100%	1.41

3-3. 合計の計算

		評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	33.99	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		33.99	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	8.92	8.92
修繕・更新・解体	5.20	3.02
居住	33.99	27.86
合計	48.10	39.79

・木造--Ｖ地域-H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4W_V	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

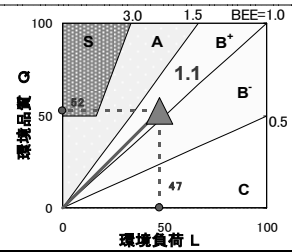
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

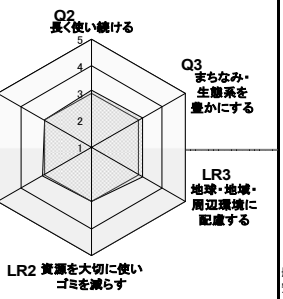
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

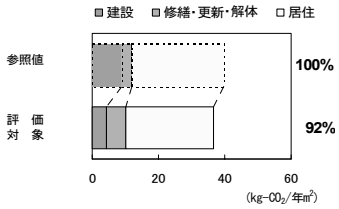
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

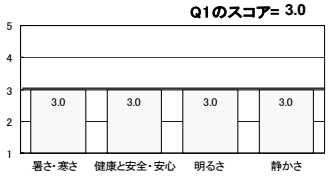


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

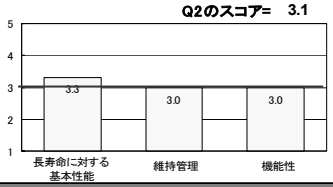
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

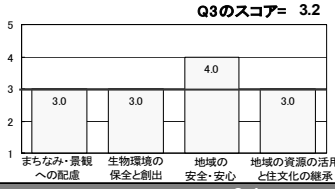
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

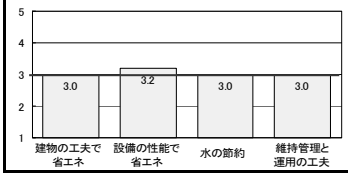


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

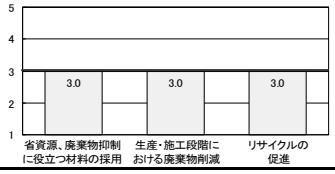


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

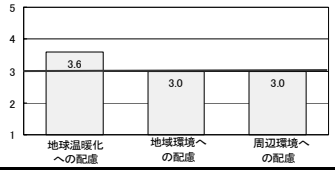
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
HAW_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
4.46	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.63	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	100%	2.39	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	90%	0.77	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	83%	6.88	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	100%	8.01	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	100%	1.36	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	100%	1.98	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	100%	1.41	100%	1.41

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	26.56	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		26.56	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	4.46	8.92
修繕・更新・解体	5.63	3.02
居住	26.56	27.86
合計	36.64	39.79

・木造--Ｖ地域-H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11W_V		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 Ⅴ	確定		外構の仕様	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定	<備考>		
敷地面積	126 ㎡	確定	評価の実施日	2008年3月20日	
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定	作成者	菊地文敏	
			確認日	2008年3月25日	
世帯人数	4	確定	確認者	影山裕美	

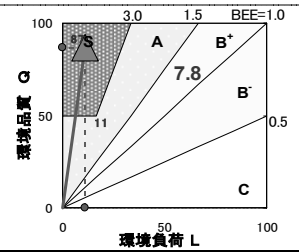
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

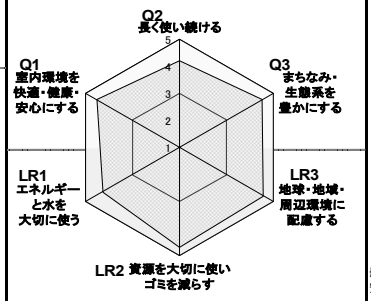
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

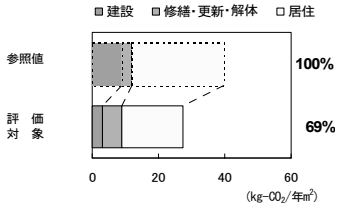
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

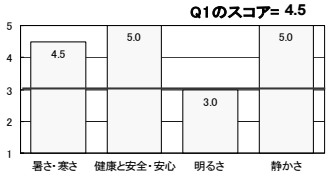


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

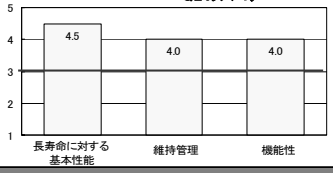
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

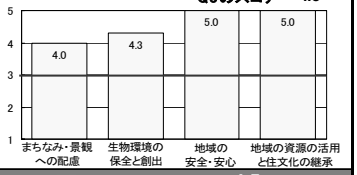
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

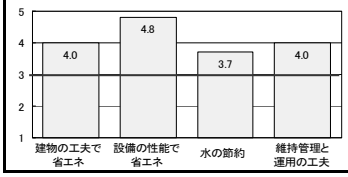


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

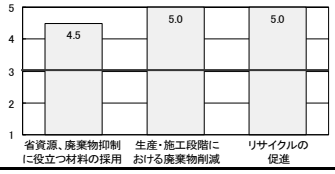


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.5

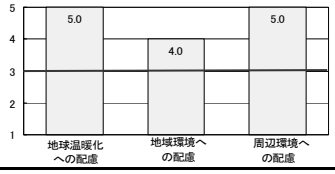
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.7



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11W_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	1	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					4.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	2.97	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	1	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.98	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	46%	1.11	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	68%	0.58	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	60%	4.92	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	75%	6.00	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	75%	1.02	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	40%	0.79	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	85%	1.20	100%	1.41

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	18.45	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		18.45	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	2.97	8.92
修繕・更新・解体	5.98	3.02
居住	18.45	27.86
合計	**27.40**	**39.79**

・木造--Ⅵ地域-S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55W_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

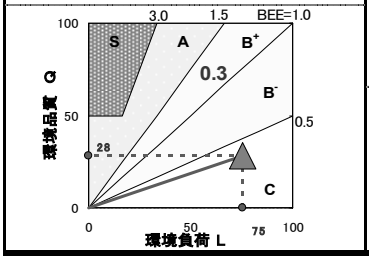
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

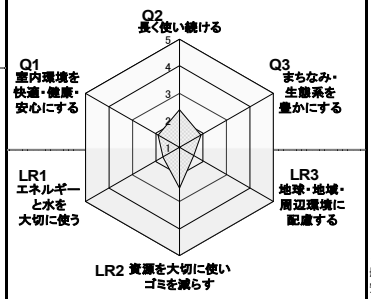
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

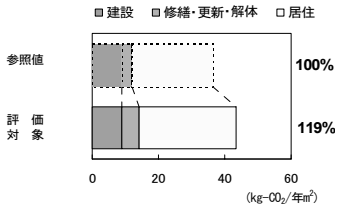
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

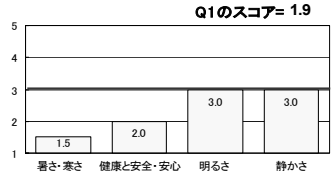


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

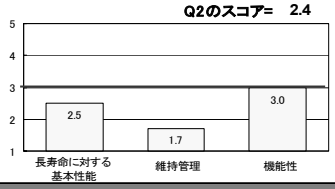
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

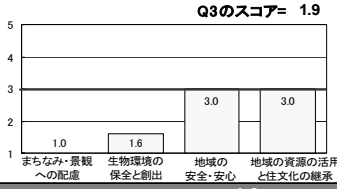
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

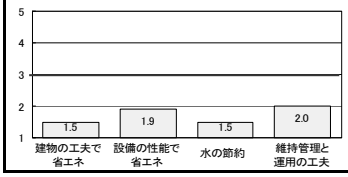


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

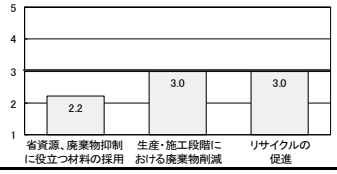


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

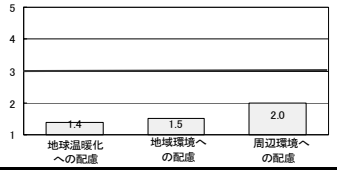
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55W_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
	8.92	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
	5.20	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	156%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	125%	2.75	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	111%	6.79	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	125%	9.83	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	125%	1.67	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	115%	1.59	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	29.27	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		29.27	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	8.92	8.92
修繕・更新・解体	5.20	3.02
居住	29.27	24.48
合計	43.38	36.42

・木造--Ⅵ地域-H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4W_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

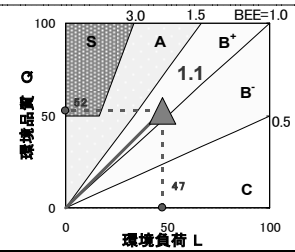
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

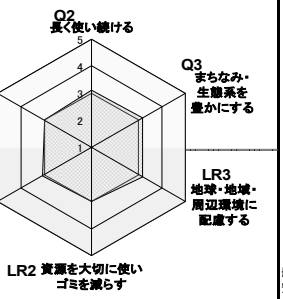
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

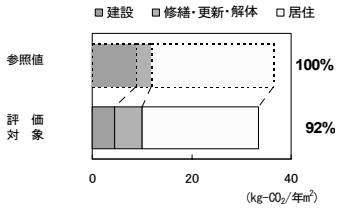
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

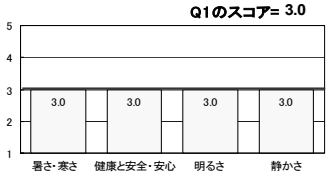


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

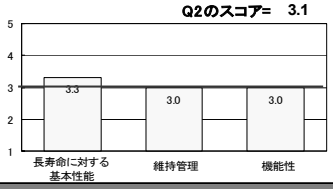
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

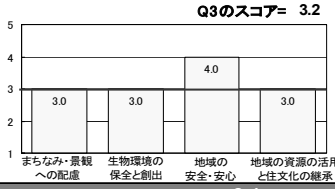
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

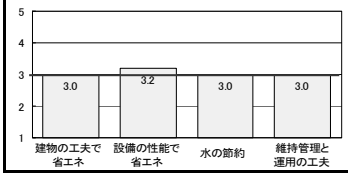


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

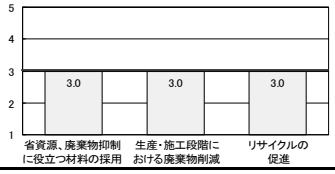


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

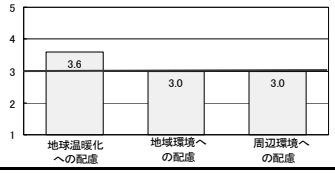
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4W_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
4.46	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
5.63	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	100%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	90%	1.98	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	83%	5.09	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	100%	7.86	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	100%	1.33	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	100%	1.38	100%	1.38

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	23.35	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		23.35	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	4.46	8.92
修繕・更新・解体	5.63	3.02
居住	23.35	24.48
合計	33.44	36.42

・木造--Ⅵ地域-H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11W_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

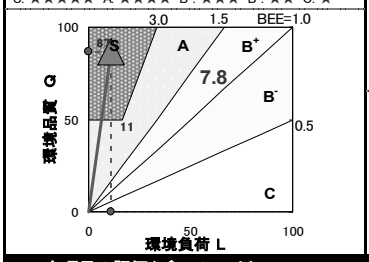
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

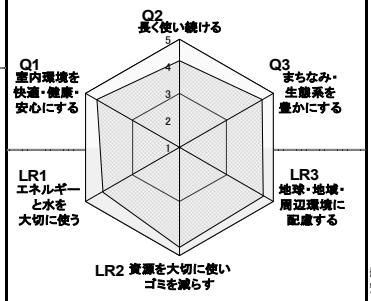
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

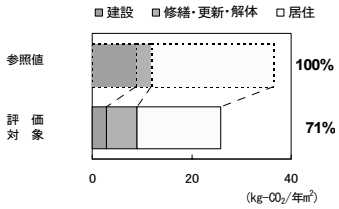
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

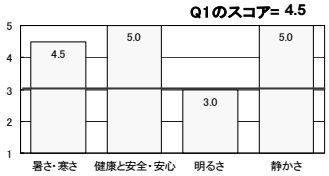


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

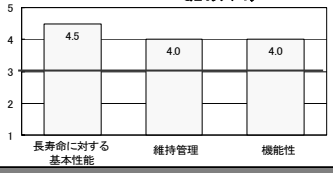
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

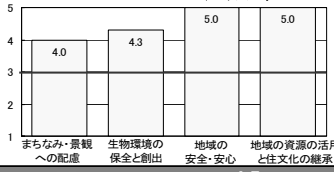
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

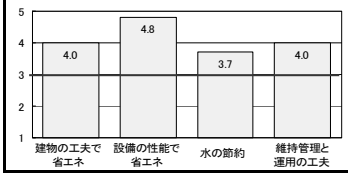


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

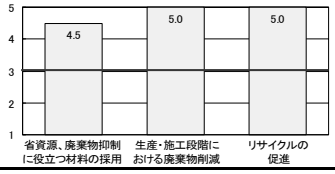


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.5

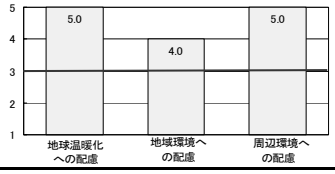
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.7



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11W_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			評価対象 kg-CO_2/年m^2		参照値 kg-CO_2/年m^2	
1 長寿命に対する基本性能		構造の比率	レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1.1 躯体	木質系	1	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象	参照値
2.97	8.92

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2			評価対象 kg-CO_2/年m^2		参照値 kg-CO_2/年m^2	
1 長寿命に対する基本性能			レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO_2排出量	採点結果	CO_2排出量
1.1 躯体	木質系	1	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象	参照値
5.98	3.02

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	46%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	68%	1.48	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	60%	3.64	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	75%	5.90	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	75%	1.00	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	40%	0.78	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	85%	1.17	100%	1.38

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	16.80	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		16.80	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	2.97	8.92
修繕・更新・解体	5.98	3.02
居住	16.80	24.48
合計	**25.75**	**36.42**

・鉄骨造--Ⅰ地域-S55

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

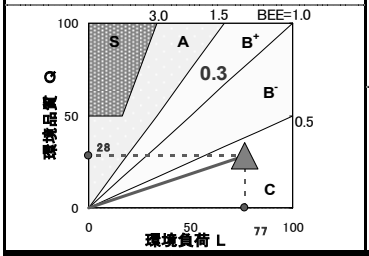
建物名称	S55S_Ⅰ		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ⅰ	確定		外構の仕様	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定	<備考>		
敷地面積	126 ㎡	確定	評価の実施日	2008年3月20日	
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定	作成者	菊地文敏	
			確認日	2008年3月25日	
世帯人数	4	確定	確認者	影山裕美	

1-2 外 観

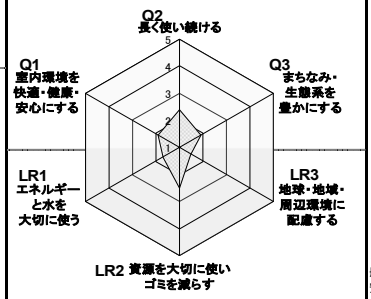
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

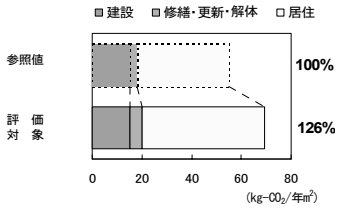
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

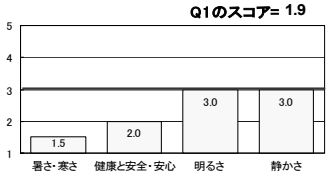


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

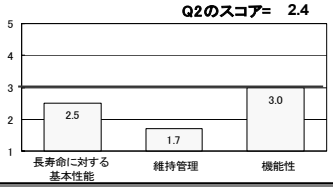
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

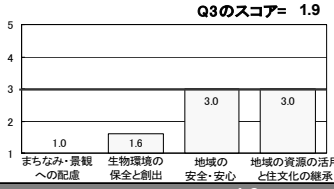
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

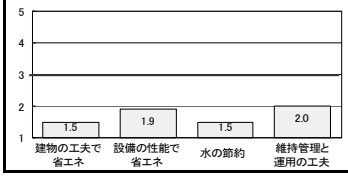


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

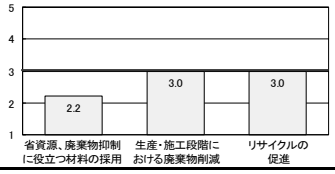


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

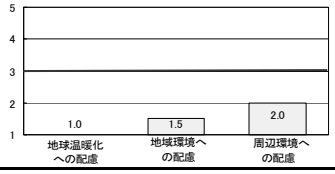
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55S_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
15.05	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	1	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.13	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	156%	19.93	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	125%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	111%	9.94	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	125%	9.47	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	125%	1.61	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	100%	1.87	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	115%	1.53	100%	1.33

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	49.04	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		49.04	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	15.05	15.05
修繕・更新・解体	5.13	2.85
居住	49.04	36.88
合計	69.23	54.78

・鉄骨造--Ⅰ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4S_Ⅰ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ⅰ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

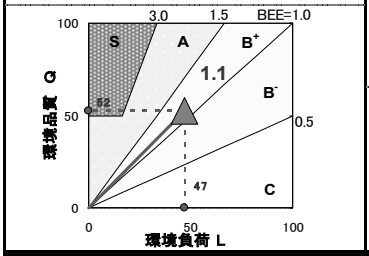
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

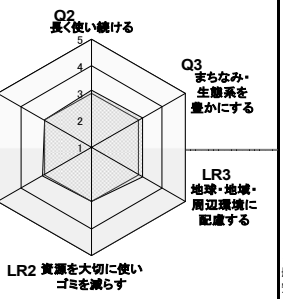
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

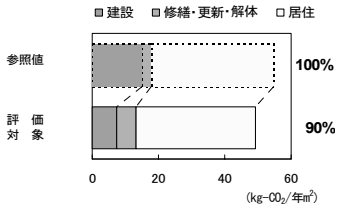
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

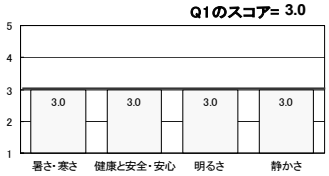


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

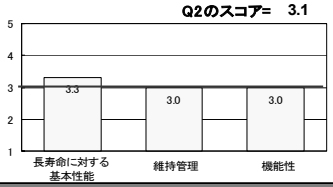
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

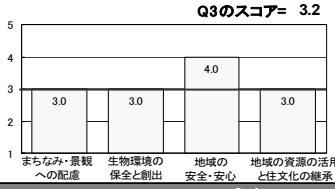
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

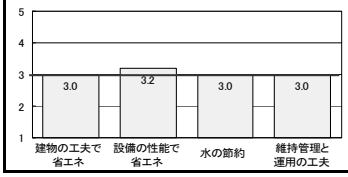


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

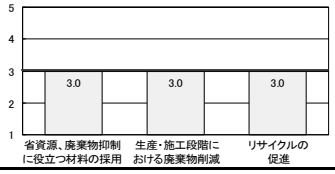


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

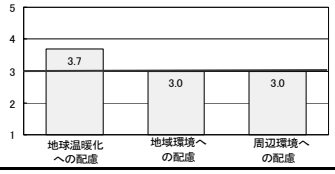
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4S_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	7.53	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.78	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	100%	12.75	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	90%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	83%	7.45	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	100%	7.57	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	100%	1.28	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	100%	1.87	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	100%	1.33	100%	1.33

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	36.03	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		36.03	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	7.53	15.05
修繕・更新・解体	5.78	2.85
居住	36.03	36.88
合計	**49.33**	**54.78**

・鉄骨造--Ⅰ地域-H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11S_Ⅰ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ⅰ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

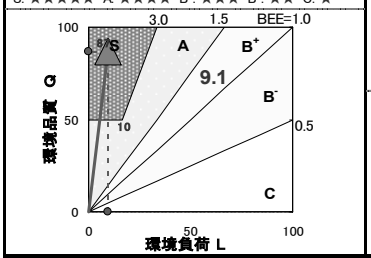
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

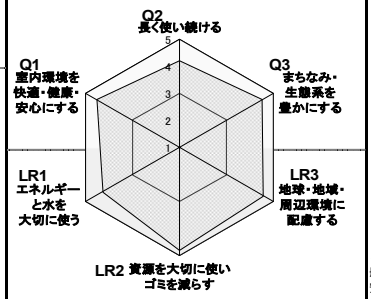
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

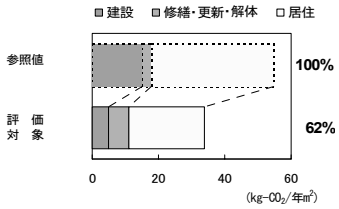
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

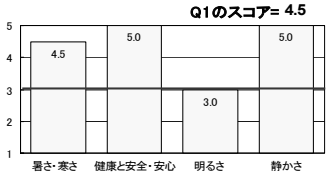


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

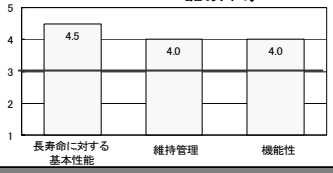
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

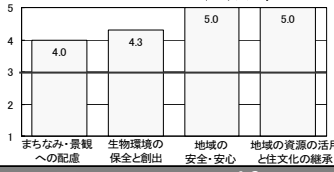
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

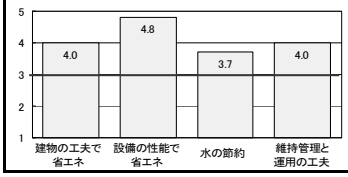


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

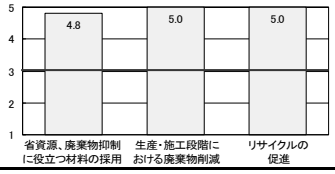


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

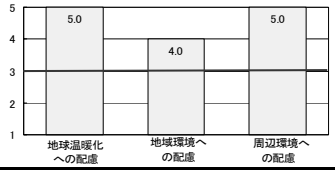
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11S_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.02	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	6.21	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	46%	5.92	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	68%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	60%	5.33	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	75%	5.68	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	75%	0.96	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	40%	0.75	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	85%	1.13	100%	1.33

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	22.60	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		22.60	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.02	15.05
修繕・更新・解体	6.21	2.85
居住	22.60	36.88
合計	**33.83**	**54.78**

・鉄骨造--Ⅱ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55S_Ⅱ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

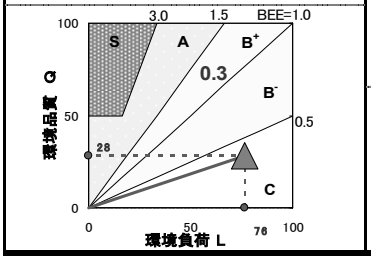
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

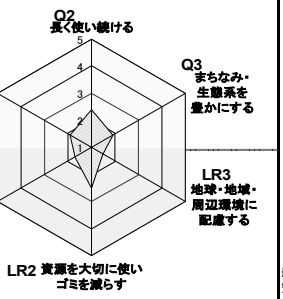
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

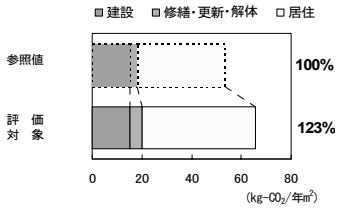
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

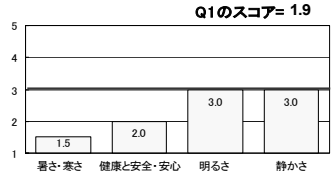


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

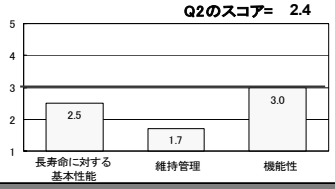
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

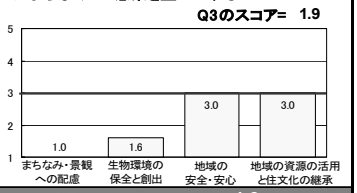
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

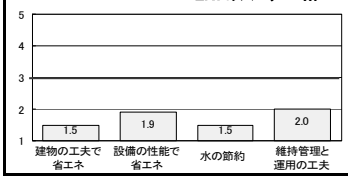


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

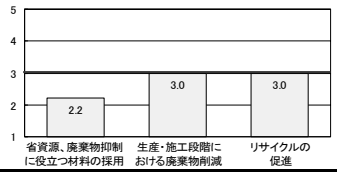


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

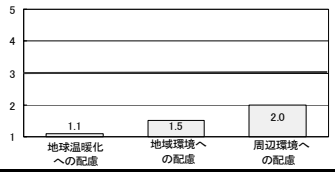
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55S_Ⅱ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
15.05	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	1	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.13	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	CO_2換算値	用途別消費率	CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	156%	13.54	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	125%	0.05	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	111%	11.97	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	125%	9.83	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	125%	1.67	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	115%	1.59	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	45.29	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		45.29	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	15.05	15.05
修繕・更新・解体	5.13	2.85
居住	45.29	35.33
合計	65.47	53.22

・鉄骨造--Ⅱ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4S_Ⅱ		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定		外構の仕様	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定	<備考>		
敷地面積	126 ㎡	確定	評価の実施日	2008年3月20日	
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定	作成者	菊地文敏	
			確認日	2008年3月25日	
世帯人数	4	確定	確認者	影山裕美	

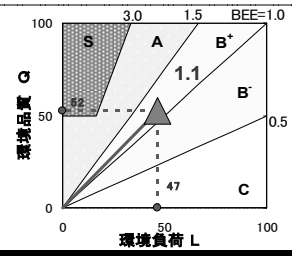
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

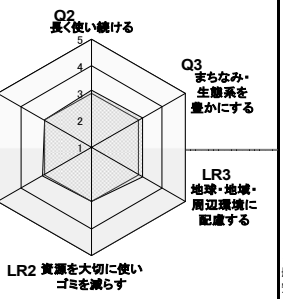
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

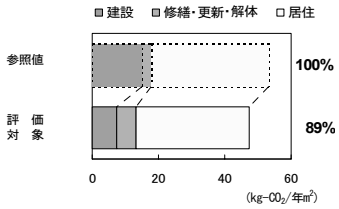
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

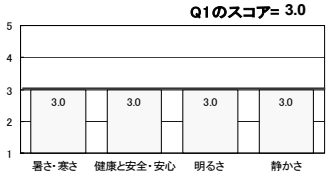


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

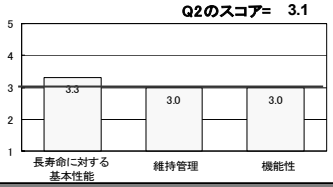
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

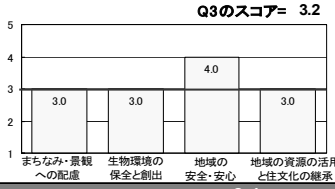
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

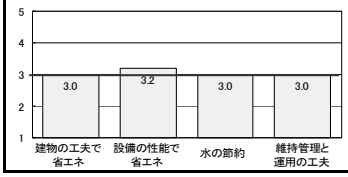


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

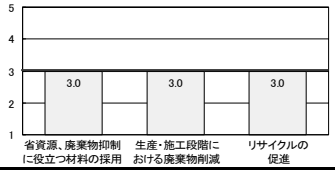


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

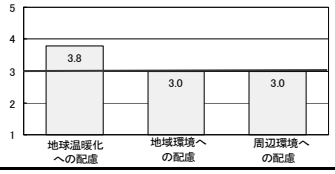
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4S_II

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
7.53	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.78	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	100%	8.66	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	90%	0.04	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	83%	8.97	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	100%	7.86	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	100%	1.33	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	100%	1.38	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	33.96	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		33.96	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	7.53	15.05
修繕・更新・解体	5.78	2.85
居住	33.96	35.33
合計	**47.26**	**53.22**

・鉄骨造--Ⅱ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11S_Ⅱ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

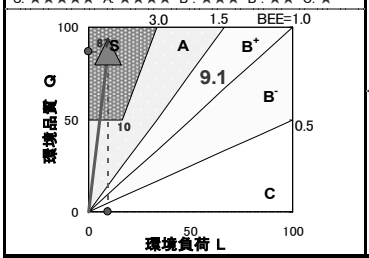
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

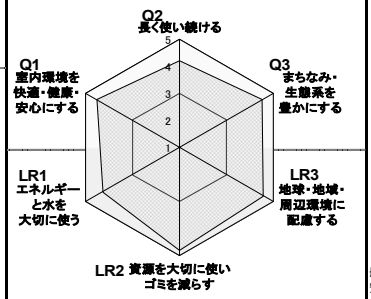
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

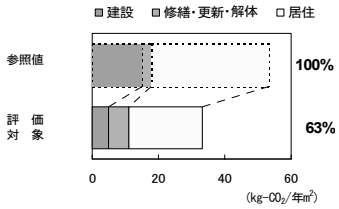
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

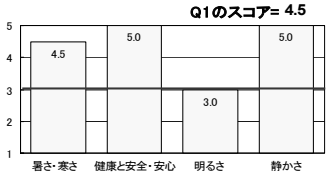


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

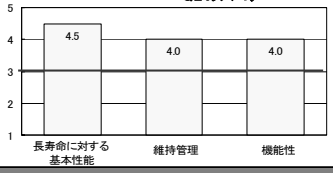
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

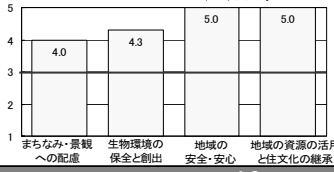
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

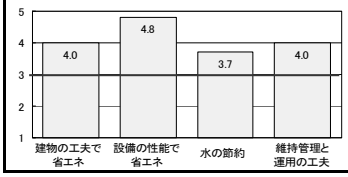


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

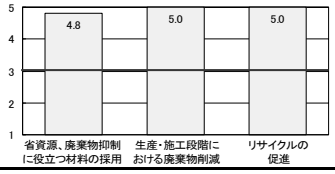


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

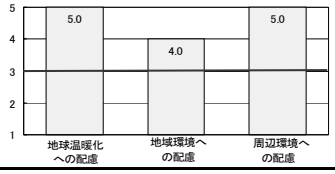
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11S_Ⅱ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.02	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
6.21	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	46%	4.02	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	68%	0.03	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	60%	6.42	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	75%	5.90	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	75%	1.00	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	40%	0.78	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	85%	1.17	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	22.14	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		22.14	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.02	15.05
修繕・更新・解体	6.21	2.85
居住	22.14	35.33
合計	**33.37**	**53.22**

・鉄骨造--Ⅲ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55S_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

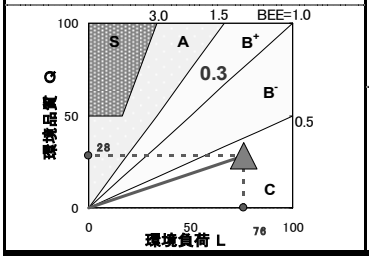
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

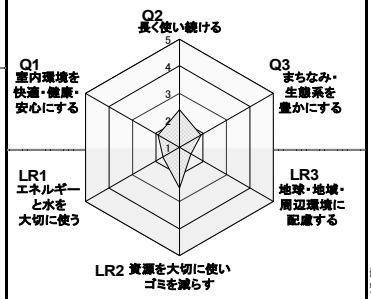
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

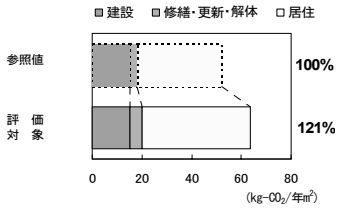
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

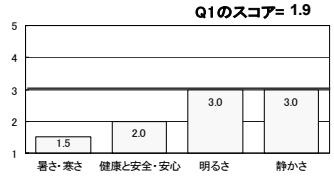


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

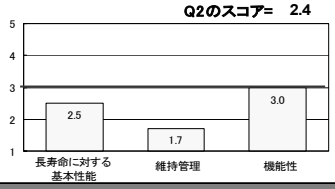
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

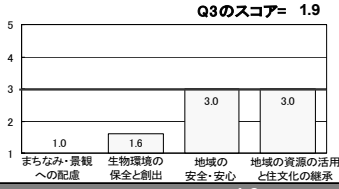
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

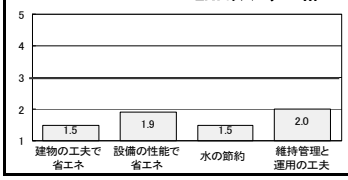


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

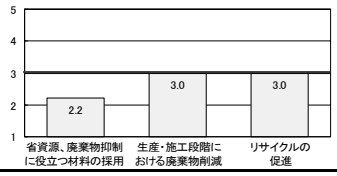


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

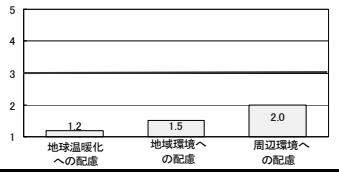
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55S_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	
1-2. 合計の計算							15.05		15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	1	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13
2-2. 合計の計算							5.13		2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	156%	10.38	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	125%	0.35	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	111%	12.04	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	125%	10.38	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	125%	1.76	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	115%	1.68	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	43.34	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		43.34	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
建設	15.05	15.05
修繕・更新・解体	5.13	2.85
居住	43.34	34.40
合計	**63.53**	**52.30**

・鉄骨造--Ⅲ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4S_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

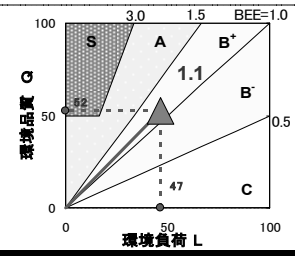
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

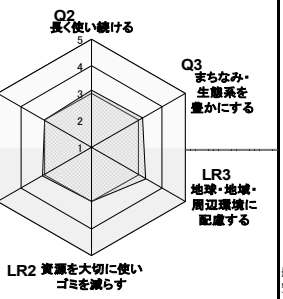
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

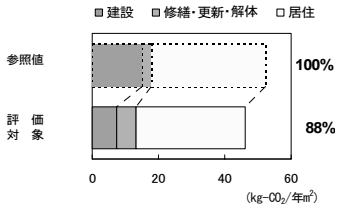
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

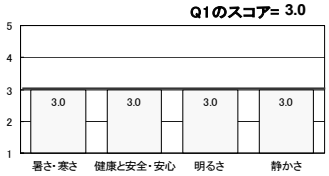


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

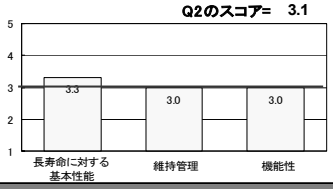
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

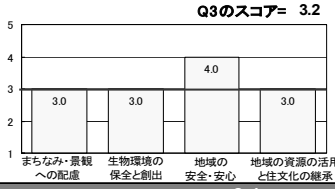
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

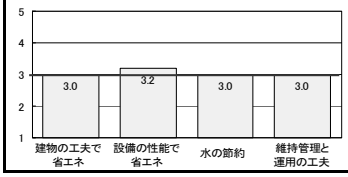


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

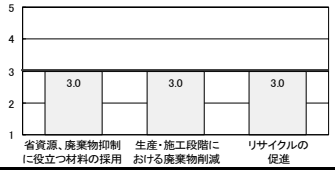


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

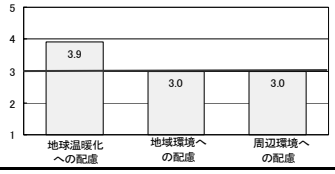
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4S_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					3.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	7.53	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
鉄骨系	1	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.78	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	100%	6.64	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	90%	0.25	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	83%	9.03	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	100%	8.30	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	100%	1.41	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	100%	1.46	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	32.91	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		32.91	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	7.53	15.05
修繕・更新・解体	5.78	2.85
居住	32.91	34.40
合計	**46.21**	**52.30**

・鉄骨造--Ⅲ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11S_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

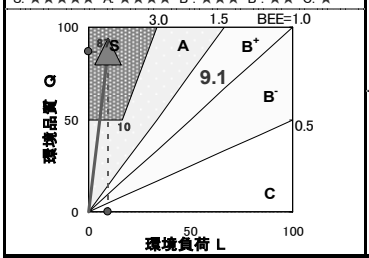
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

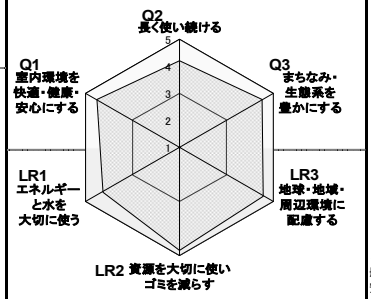
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

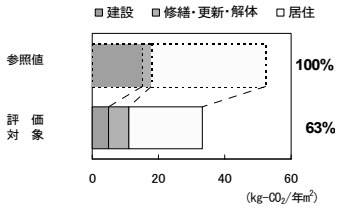
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2（温暖化影響チャート）

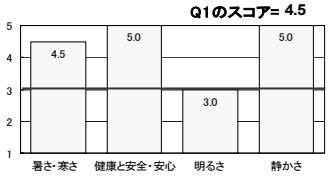


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

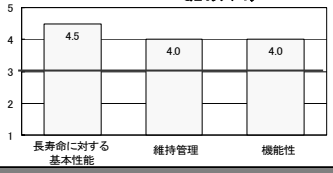
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

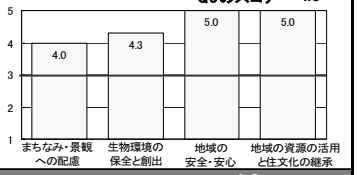
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

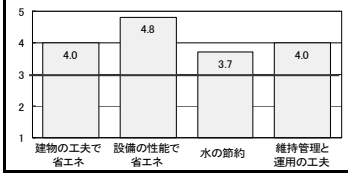


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

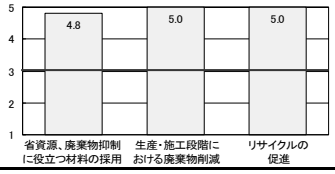


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

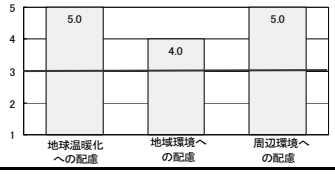
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11S_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.02	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
6.21	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	46%	3.08	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	68%	0.19	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	60%	6.46	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	75%	6.23	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	75%	1.06	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	40%	0.82	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	85%	1.24	100%	1.46

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	21.90	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		21.90	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.02	15.05
修繕・更新・解体	6.21	2.85
居住	21.90	34.40
合計	**33.13**	**52.30**

・鉄骨造--Ⅳ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55S_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

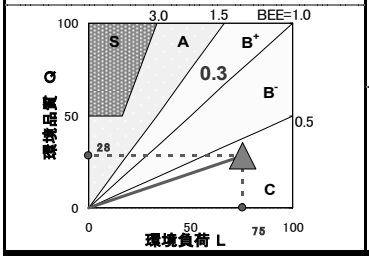
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

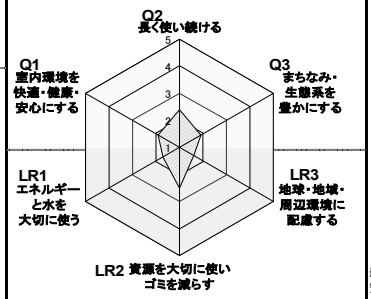
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

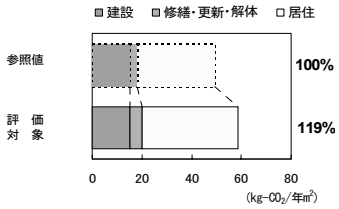
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

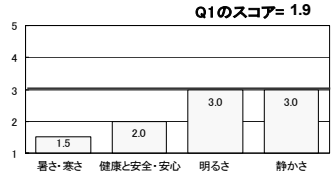


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

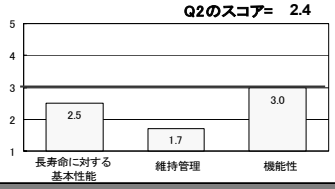
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

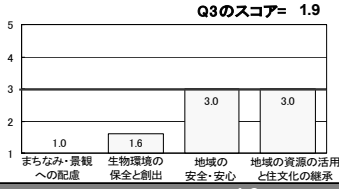
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

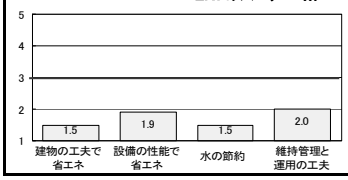


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

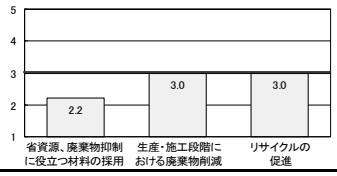


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

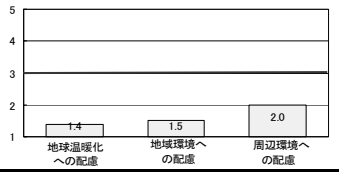
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55S_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
15.05	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	1	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.13	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	156%	5.63	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	125%	1.06	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	111%	11.25	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	125%	10.42	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	125%	1.77	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	115%	1.68	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	38.59	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		38.59	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	15.05	15.05
修繕・更新・解体	5.13	2.85
居住	38.59	31.41
合計	58.78	49.30

・鉄骨造--Ⅳ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4S_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

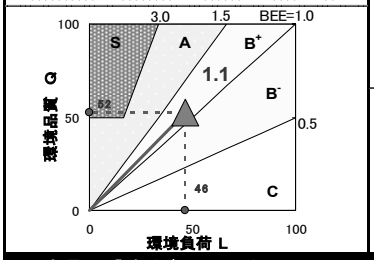
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

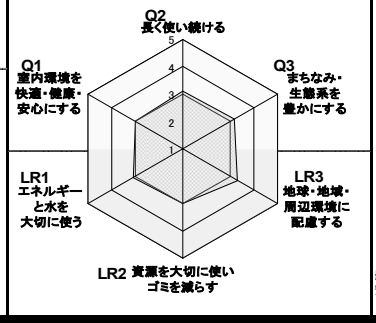
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

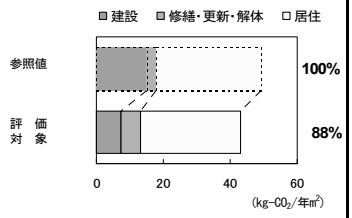
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

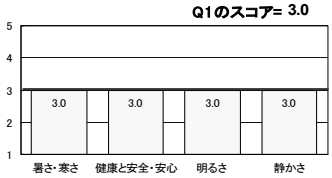


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

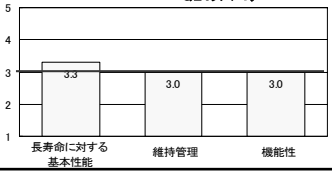
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

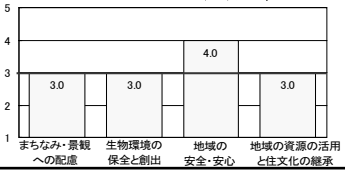
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

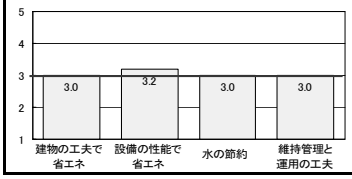


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

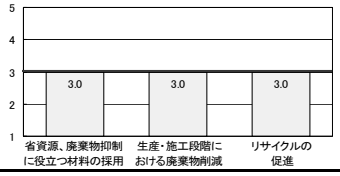


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

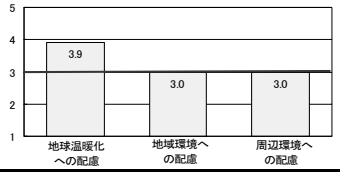
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4S_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					3.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	7.53	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
鉄骨系	1	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.78	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	100%	3.61	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	90%	0.76	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	83%	8.44	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	100%	8.34	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	100%	1.41	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	100%	1.46	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	29.86	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		29.86	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	7.53	15.05
修繕・更新・解体	5.78	2.85
居住	29.86	31.41
合計	43.16	49.30

・鉄骨造--Ⅳ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11S_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

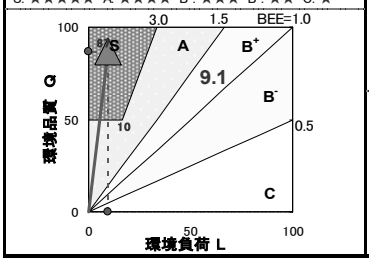
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

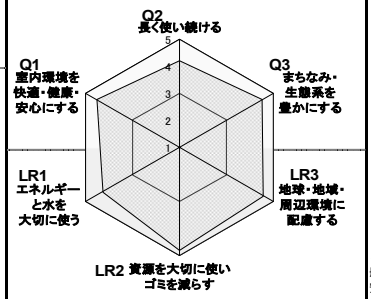
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

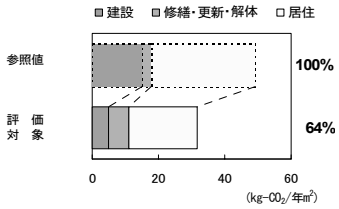
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

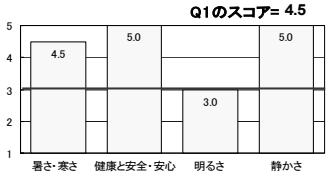


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

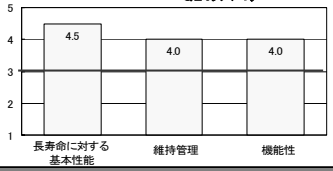
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

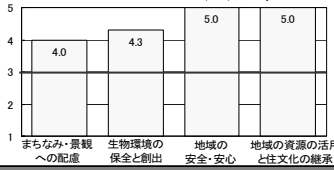
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

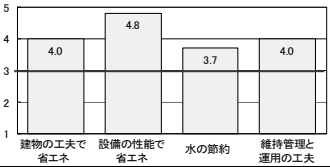


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

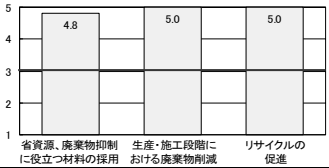


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

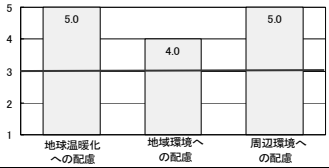
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11S_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	
1-2. 合計の計算							5.02		15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13
2-2. 合計の計算							6.21		2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	46%	1.67	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	68%	0.57	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	60%	6.04	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	75%	6.25	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	75%	1.06	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	40%	0.83	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	85%	1.25	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	20.50	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		20.50	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.02	15.05
修繕・更新・解体	6.21	2.85
居住	20.50	31.41
合計	**31.73**	**49.30**

・鉄骨造--V 地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55S_V	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

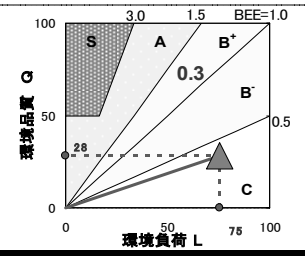
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

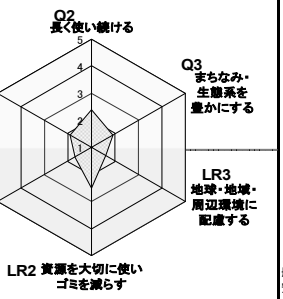
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

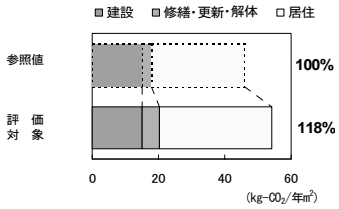
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

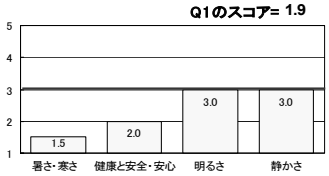


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

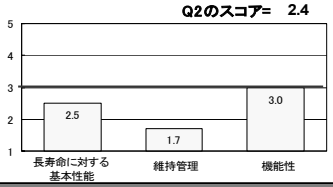
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

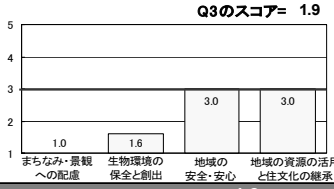
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

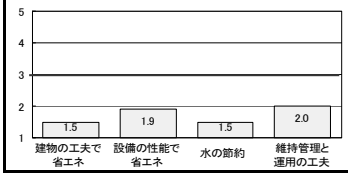


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

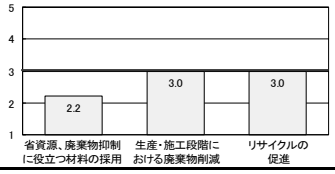


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

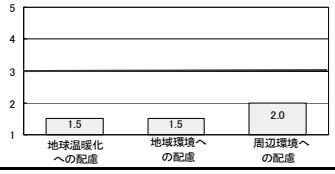
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55S_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
15.05	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	1	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.13	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	156%	3.73	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	125%	1.07	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	111%	9.17	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	125%	10.01	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	125%	1.70	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	100%	1.98	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	115%	1.62	100%	1.41

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	33.99	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		33.99	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	15.05	15.05
修繕・更新・解体	5.13	2.85
居住	33.99	27.86
合計	54.17	45.75

・鉄骨造--V地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4S_V	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定

<備考>

評価の実施日	2008年3月20日
作成者	菊地文敏
確認日	2008年3月25日
確認者	影山裕美

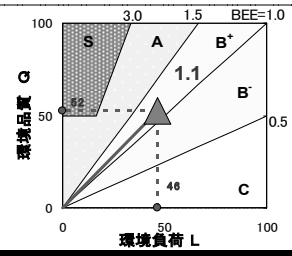
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

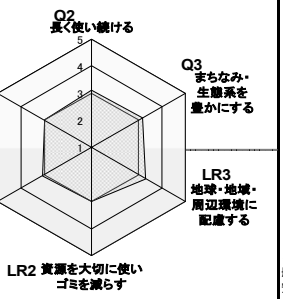
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

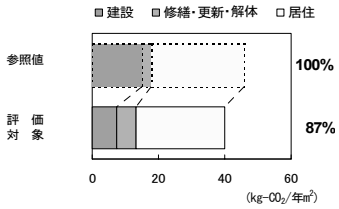
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

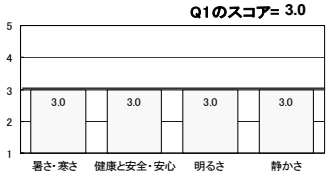


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

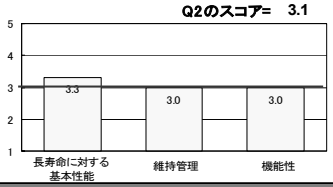
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

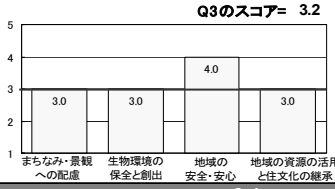
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

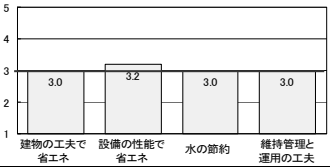


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

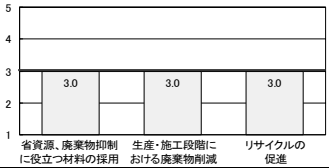


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

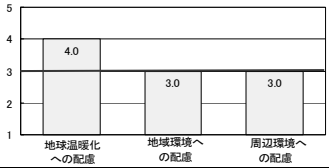
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4S_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
7.53	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.78	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	100%	2.39	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	90%	0.77	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	83%	6.88	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	100%	8.01	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	100%	1.36	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	100%	1.98	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	100%	1.41	100%	1.41

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	26.56	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		26.56	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	7.53	15.05
修繕・更新・解体	5.78	2.85
居住	26.56	27.86
合計	39.86	45.75

・鉄骨造--V 地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11S_V	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

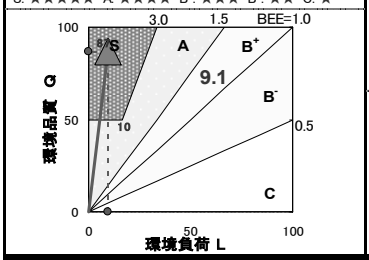
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

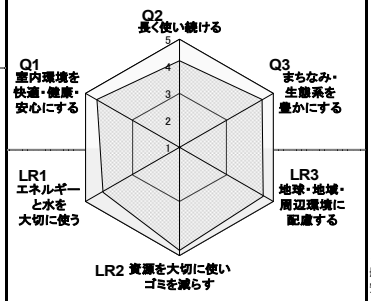
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

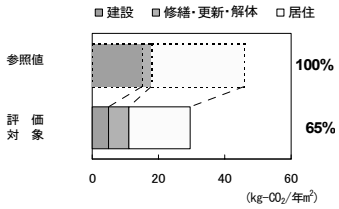
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

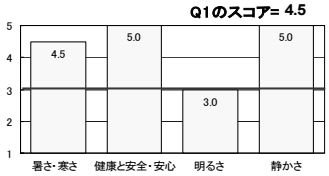


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

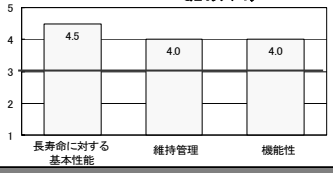
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

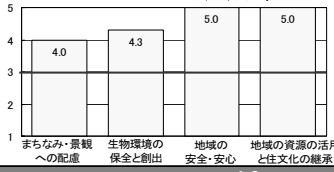
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

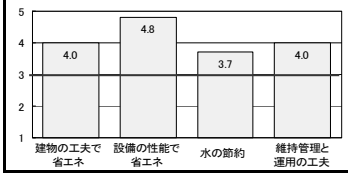


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

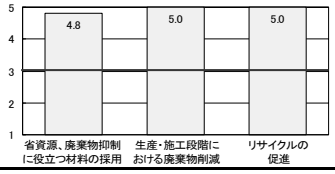


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

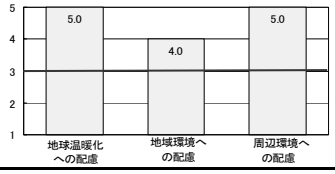
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11S_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.02	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
6.21	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	46%	1.11	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	68%	0.58	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	60%	4.92	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	75%	6.00	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	75%	1.02	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	40%	0.79	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	85%	1.20	100%	1.41

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	18.45	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		18.45	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.02	15.05
修繕・更新・解体	6.21	2.85
居住	18.45	27.86
合計	29.68	45.75

・鉄骨造--Ⅵ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55S_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

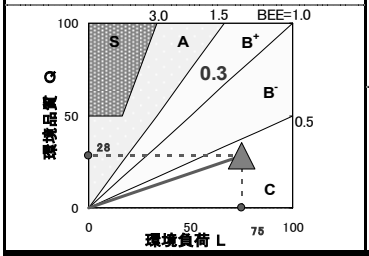
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

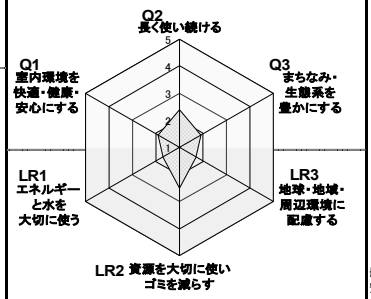
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

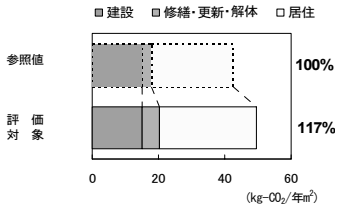
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

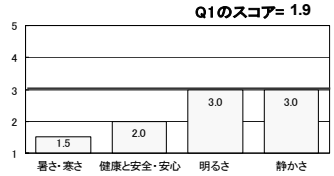


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

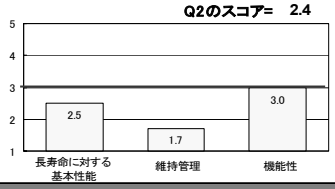
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

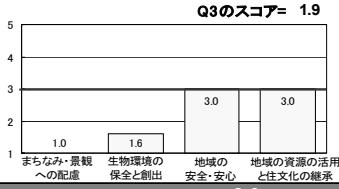
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

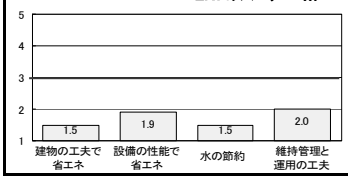


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

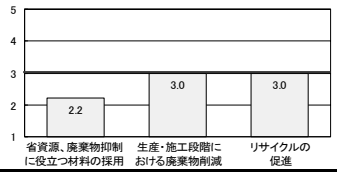


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.0

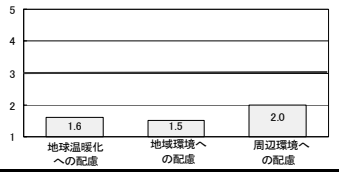
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.7



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55S_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
15.05	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 採点結果	参照値 CO_2排出量 (kg-CO_2/年m^2)
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	1	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
5.13	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	評価対象 消費率	参照値 採点結果	参照値 消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)	用途別消費率	CO_2換算値 (kg-CO_2/年m^2)
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	156%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	125%	2.75	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	111%	6.79	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	125%	9.83	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	125%	1.67	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	115%	1.59	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	29.27	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		29.27	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 (kg-CO_2/年m^2)	参照値 (kg-CO_2/年m^2)
建設	15.05	15.05
修繕・更新・解体	5.13	2.85
居住	29.27	24.48
合計	49.45	42.38

・鉄骨造--Ⅵ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4S_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

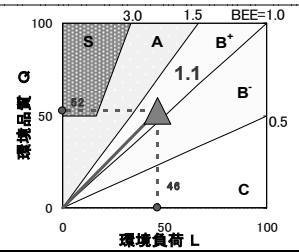
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

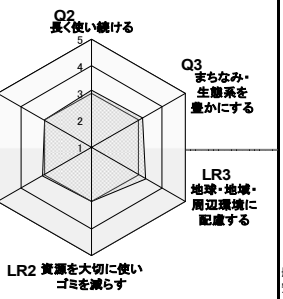
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

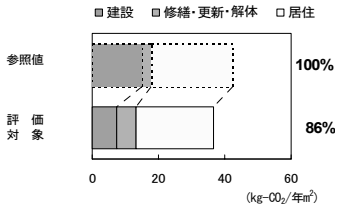
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

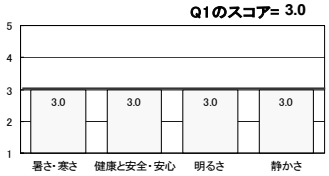


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

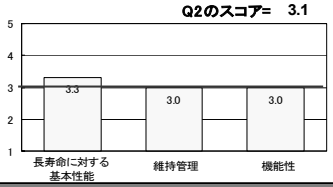
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

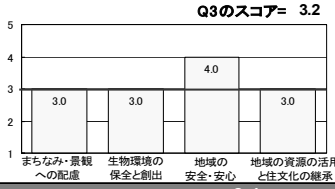
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

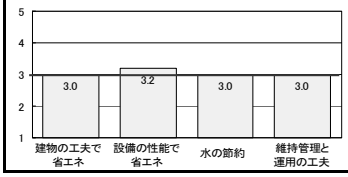


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

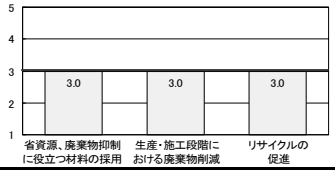


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

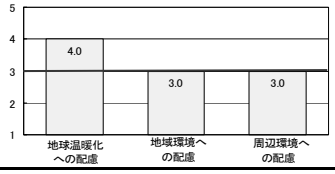
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4S_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
7.53	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.78	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	CO_2換算値	用途別消費率	CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	100%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	90%	1.98	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	83%	5.09	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	100%	7.86	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	100%	1.33	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	100%	1.38	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	23.35	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		23.35	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	7.53	15.05
修繕・更新・解体	5.78	2.85
居住	23.35	24.48
合計	36.66	42.38

・鉄骨造--Ⅵ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11S_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	鉄骨造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

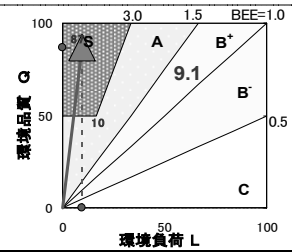
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

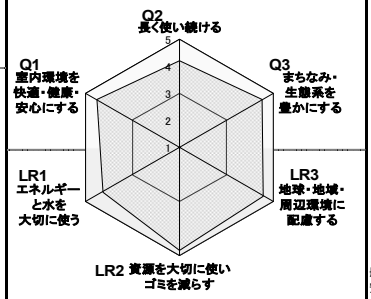
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

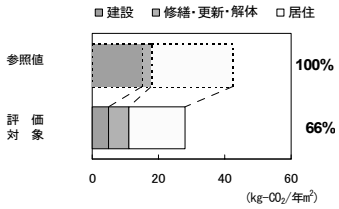
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

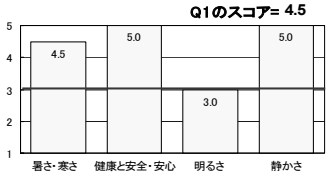


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

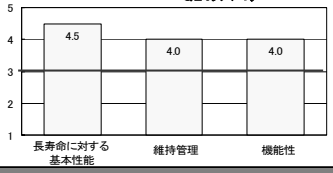
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

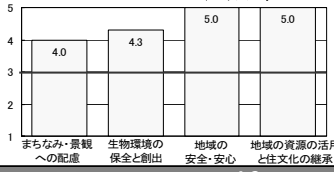
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

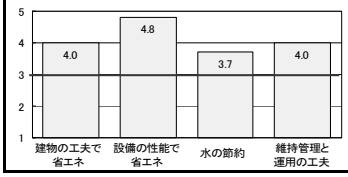


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

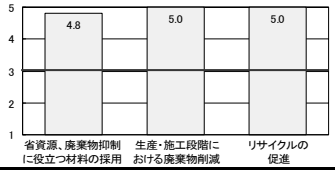


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

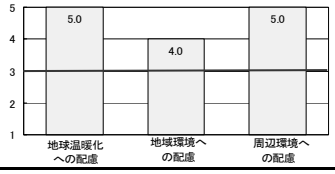
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11S_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	1	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	0	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.02	15.05

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	1	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	0	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
6.21	2.85

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	46%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	68%	1.48	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	60%	3.64	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	75%	5.90	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	75%	1.00	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	40%	0.78	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	85%	1.17	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	16.80	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		16.80	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.02	15.05
修繕・更新・解体	6.21	2.85
居住	16.80	24.48
合計	**28.03**	**42.38**

・ＲＣ造--Ｉ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55RC_Ｉ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ｉ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

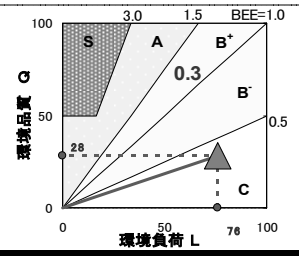
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

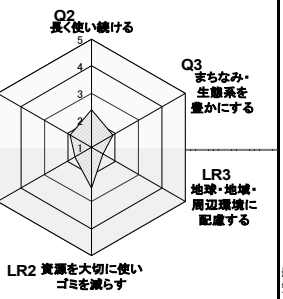
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

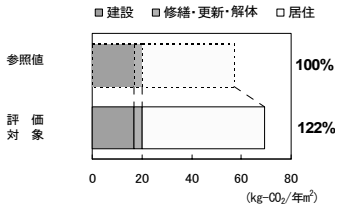
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

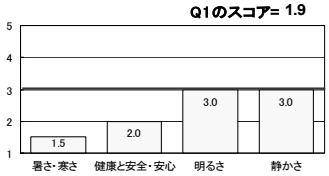


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

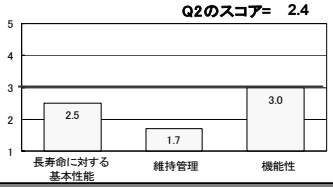
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

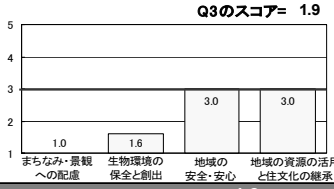
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

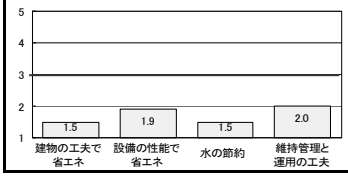


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

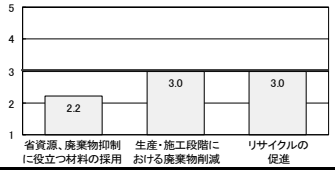


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

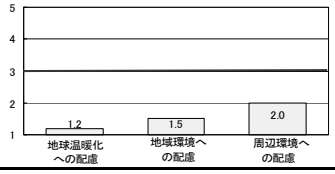
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.5



3 設計上の配慮事項

総合		その他

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		

LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55RC_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	16.83	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	3.27	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	156%	19.93	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	125%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	111%	9.94	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	125%	9.47	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	125%	1.61	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	100%	1.87	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	115%	1.53	100%	1.33

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	49.04	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		49.04	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	16.83	16.83
修繕・更新・解体	3.27	3.13
居住	49.04	36.88
合計	69.14	56.85

・ＲＣ造--Ｉ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4RC_Ｉ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ｉ	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

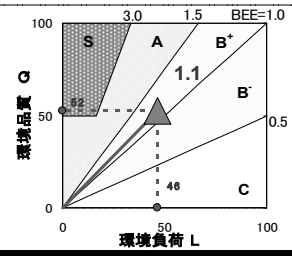
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

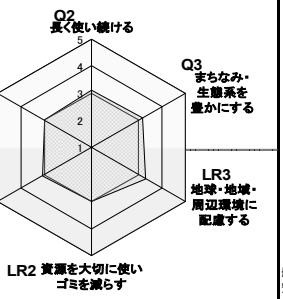
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

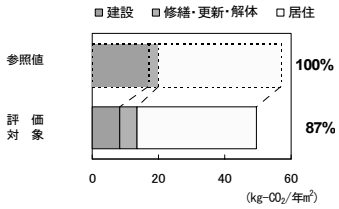
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

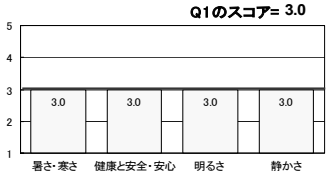


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

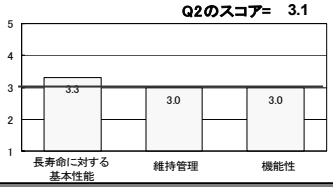
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

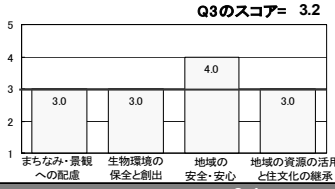
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

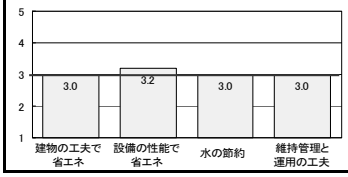


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

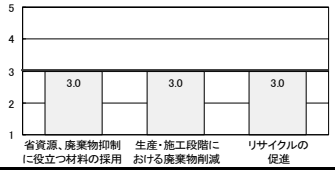


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

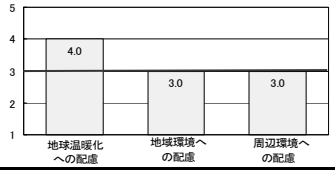
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4RC_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
8.42	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.02	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	100%	12.75	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	90%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	83%	7.45	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	100%	7.57	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	100%	1.28	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	100%	1.87	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	100%	1.33	100%	1.33

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	36.03	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		36.03	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	8.42	16.83
修繕・更新・解体	5.02	3.13
居住	36.03	36.88
合計	49.46	56.85

・ＲＣ造--Ｉ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11RC_Ⅰ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	北海道札幌市 第二種低層住居専用地域 Ⅰ	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

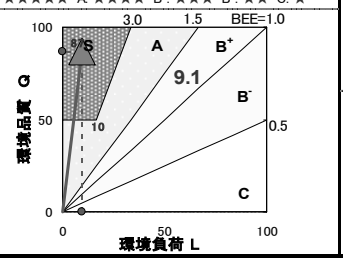
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

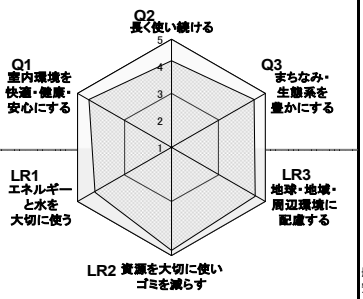
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

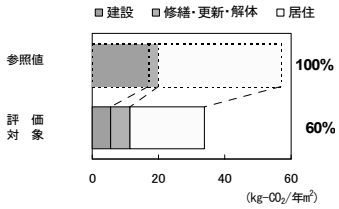
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

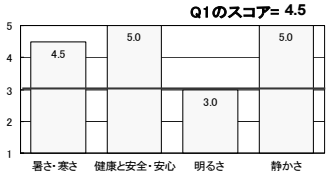


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

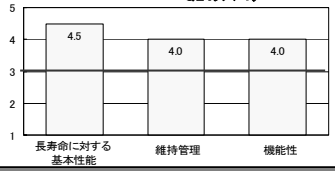
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

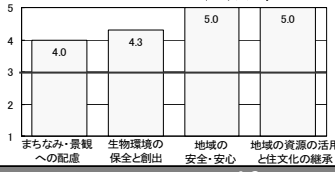
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

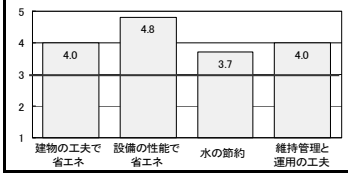


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

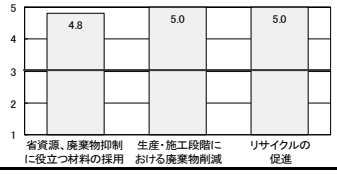


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

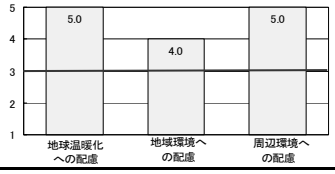
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11RC_I

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	kg-CO_2/年m^2	kg-CO_2/年m^2
	5.61	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	kg-CO_2/年m^2	kg-CO_2/年m^2
	5.62	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	12.75	46%	5.92	95%	12.12
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.00	68%	0.00	95%	0.00
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.94	60%	5.33	100%	8.94
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.57	75%	5.68	100%	7.57
調理	照明・家電・厨房機器	1.28	75%	0.96	100%	1.28
換気	換気設備	1.87	40%	0.75	100%	1.87
節水	節水型設備×雨水の利用	1.33	85%	1.13	100%	1.33

3-3. 合計の計算

		kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	37.52	22.60	36.88
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		22.60	36.88

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
建設	5.61	16.83
修繕・更新・解体	5.62	3.13
居住	22.60	36.88
合計	33.83	56.85

・ＲＣ造--Ⅱ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55RC_Ⅱ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

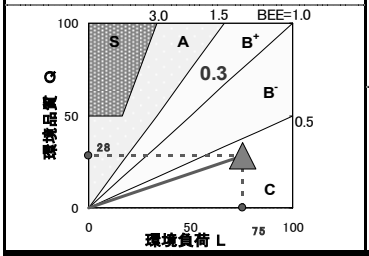
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

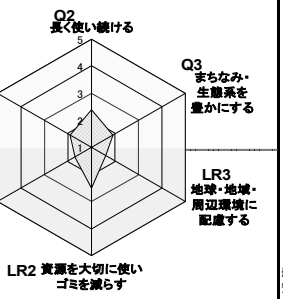
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

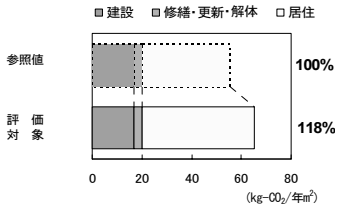
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

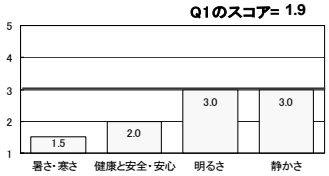


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

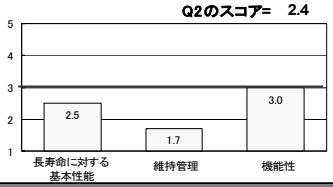
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

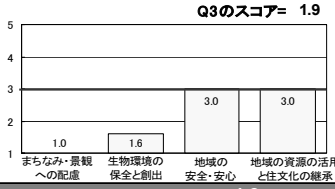
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

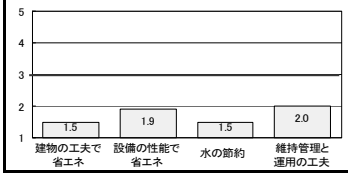


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

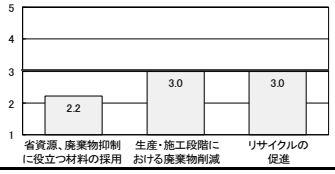


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 1.9

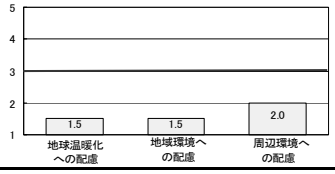
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55RC_II

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	16.83	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	3.27	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	156%	13.54	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	125%	0.05	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	111%	11.97	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	125%	9.83	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	125%	1.67	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	115%	1.59	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	45.29	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		45.29	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	16.83	16.83
修繕・更新・解体	3.27	3.13
居住	45.29	35.33
合計	65.39	55.29

・ＲＣ造--Ⅱ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4RC_Ⅱ		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定		外構の仕様	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定	<備考>		
敷地面積	126 ㎡	確定	評価の実施日	2008年3月20日	
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定	作成者	菊地文敏	
			確認日	2008年3月25日	
世帯人数	4	確定	確認者	影山裕美	

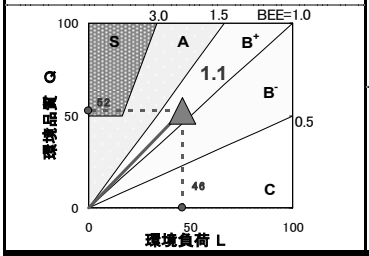
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

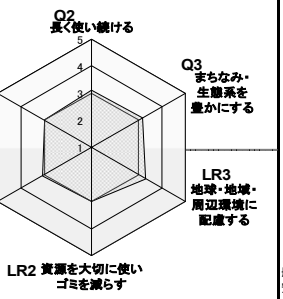
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

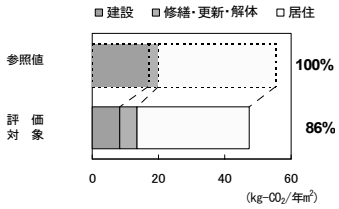
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

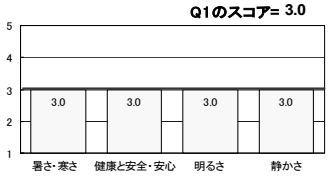


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

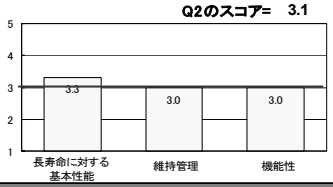
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

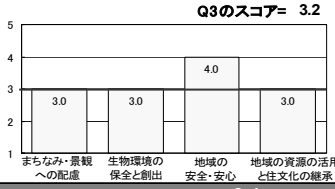
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

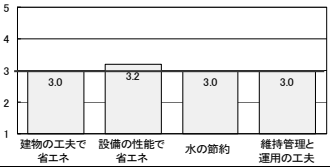


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

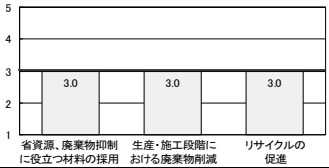


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

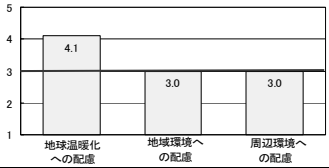
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4RC_Ⅱ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	8.42	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.02	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	100%	8.66	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	90%	0.04	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	83%	8.97	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	100%	7.86	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	100%	1.33	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	100%	1.38	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	33.96	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		33.96	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	8.42	16.83
修繕・更新・解体	5.02	3.13
居住	33.96	35.33
合計	47.39	55.29

・ＲＣ造--Ⅱ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11RC_Ⅱ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	岩手県盛岡市 第二種低層住居専用地域 Ⅱ	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

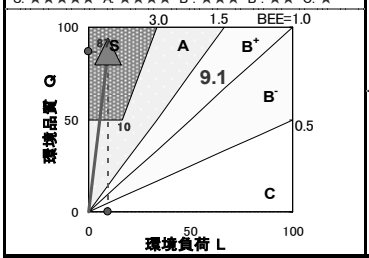
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

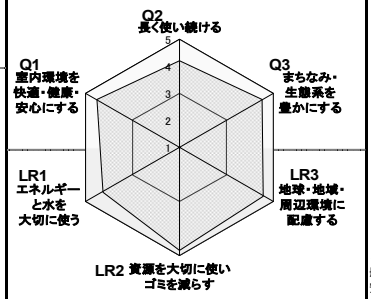
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

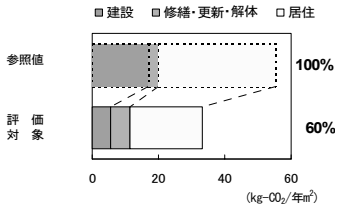
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

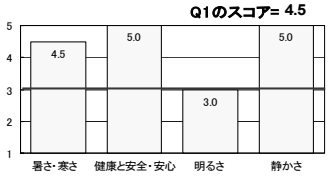


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

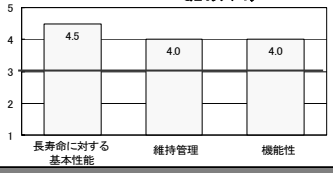
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

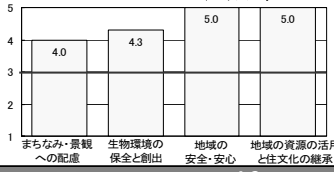
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

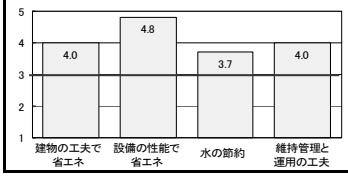


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

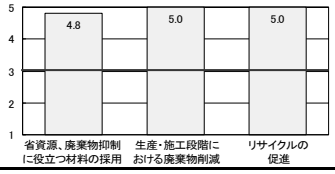


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

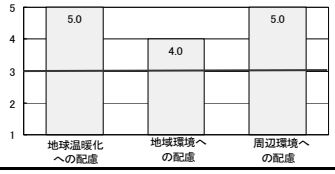
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11RC_II

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.61	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.62	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	8.66	46%	4.02	95%	8.23
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.04	68%	0.03	95%	0.04
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.77	60%	6.42	100%	10.77
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	75%	5.90	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	75%	1.00	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	40%	0.78	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	85%	1.17	100%	1.38

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	35.76	22.14	35.33
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		22.14	35.33

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.61	16.83
修繕・更新・解体	5.62	3.13
居住	22.14	35.33
合計	**33.38**	**55.29**

・ＲＣ造--Ⅲ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55RC_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

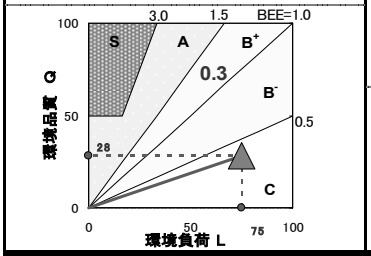
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

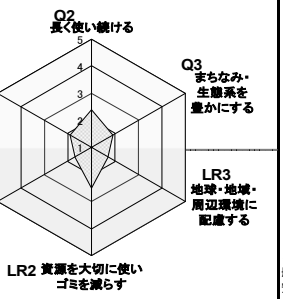
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

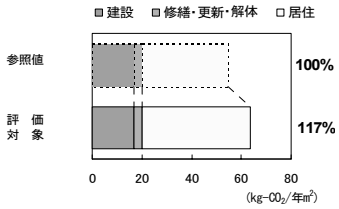
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

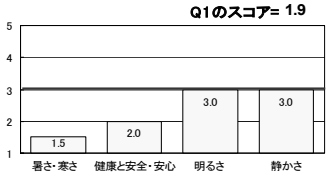


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

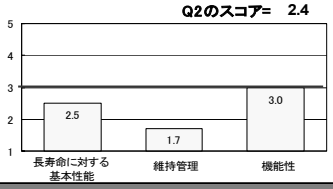
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

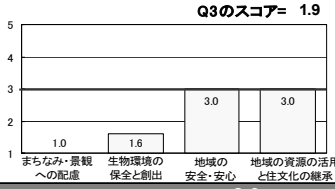
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

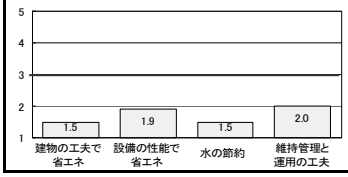


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

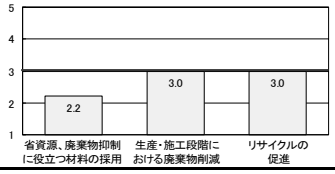


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.0

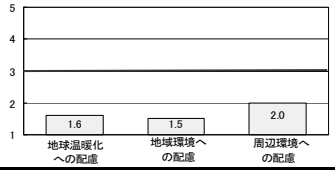
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.7



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55RC_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	16.83	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	3.27	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	156%	10.38	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	125%	0.35	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	111%	12.04	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	125%	10.38	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	125%	1.76	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	115%	1.68	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	43.34	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		43.34	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	16.83	16.83
修繕・更新・解体	3.27	3.13
居住	43.34	34.40
合計	63.44	54.36

・ＲＣ造--Ⅲ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4RC_Ⅲ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

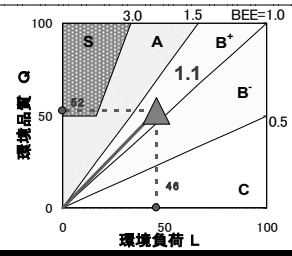
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

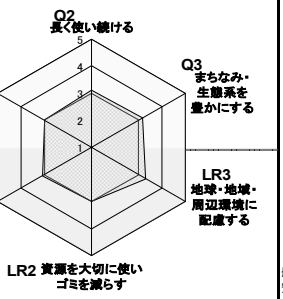
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

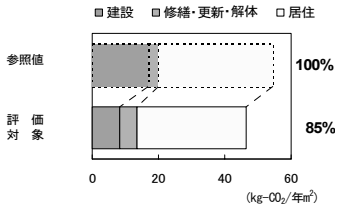
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

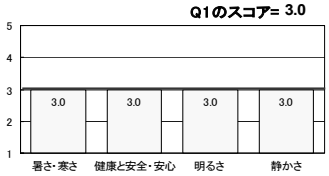


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

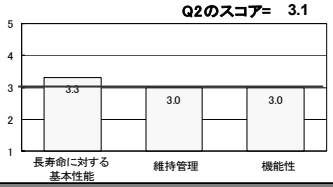
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

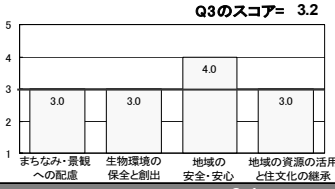
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

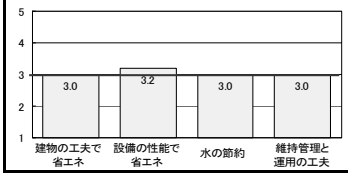


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

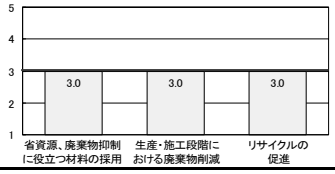


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

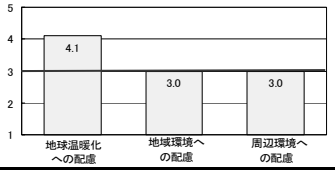
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4RC_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
8.42	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.02	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	100%	6.64	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	90%	0.25	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	83%	9.03	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	100%	8.30	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	100%	1.41	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	100%	1.46	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	32.91	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		32.91	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	8.42	16.83
修繕・更新・解体	5.02	3.13
居住	32.91	34.40
合計	46.34	54.36

・ＲＣ造--Ⅲ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11RC_Ⅲ		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	宮城県仙台市 第二種低層住居専用地域 Ⅲ	確定		外構の仕様	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定	<備考>		
敷地面積	126 ㎡	確定	評価の実施日	2008年3月20日	
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定	作成者	菊地文敏	
			確認日	2008年3月25日	
世帯人数	4	確定	確認者	影山裕美	

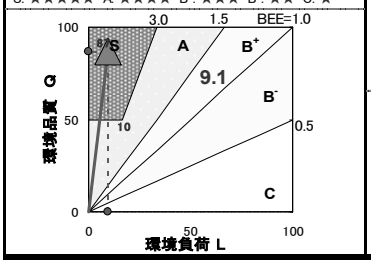
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

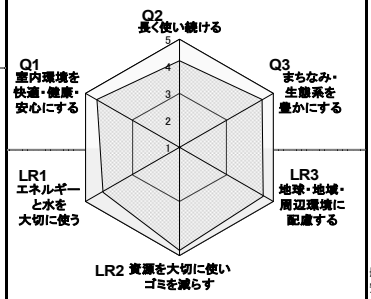
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

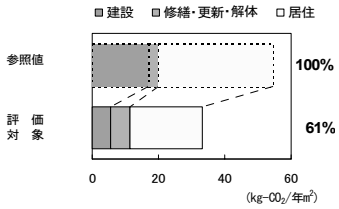
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

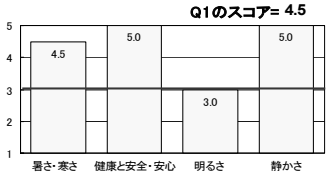


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

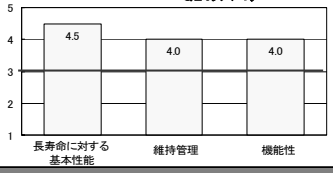
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

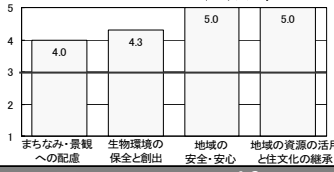
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

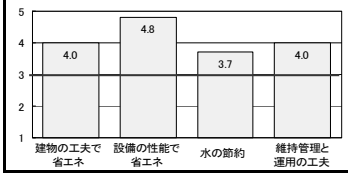


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

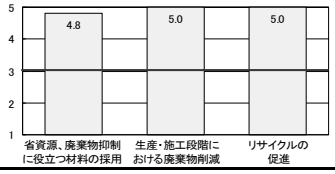


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

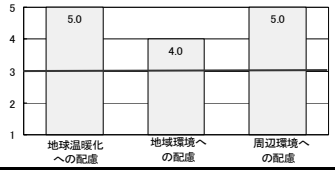
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11RC_Ⅲ

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					4.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

kg-CO_2/年m^2 評価対象	参照値
5.61	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
コンクリート系	1	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

kg-CO_2/年m^2 評価対象	参照値
5.62	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	6.64	46%	3.08	95%	6.31
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.28	68%	0.19	95%	0.27
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.84	60%	6.46	100%	10.84
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.30	75%	6.23	100%	8.30
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	75%	1.06	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	40%	0.82	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	85%	1.24	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		kg-CO_2/年m^2 評価対象	参照値
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	34.74	21.90	34.40
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		21.90	34.40

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	kg-CO_2/年m^2 評価対象	参照値
建設	5.61	16.83
修繕・更新・解体	5.62	3.13
居住	21.90	34.40
合計	33.13	54.36

・ＲＣ造--Ⅳ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55RC_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

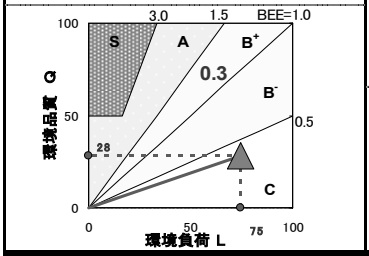
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

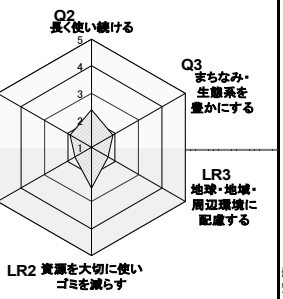
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

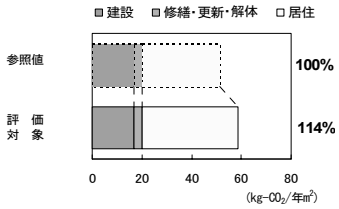
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

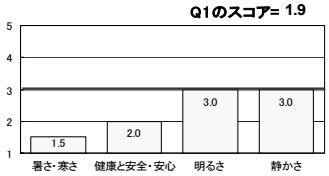


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

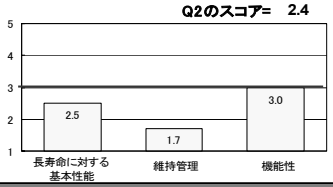
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

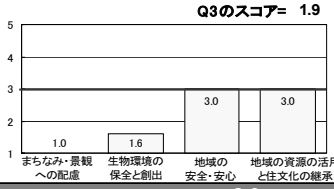
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

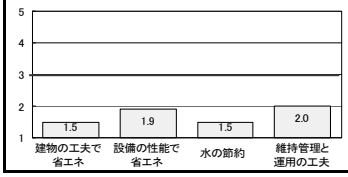


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

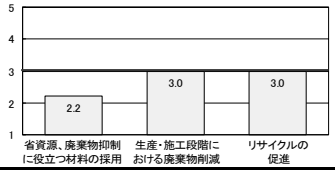


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.0

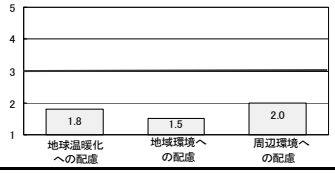
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.7



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55RC_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	16.83	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	3.27	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	156%	5.63	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	125%	1.06	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	111%	11.25	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	125%	10.42	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	125%	1.77	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	115%	1.68	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	38.59	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		38.59	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	16.83	16.83
修繕・更新・解体	3.27	3.13
居住	38.59	31.41
合計	**58.69**	**51.37**

・ＲＣ造--Ⅳ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4RC_Ⅳ		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定		外構の仕様	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定	<備考>		
敷地面積	126 ㎡	確定	評価の実施日	2008年3月20日	
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定	作成者	菊地文敏	
			確認日	2008年3月25日	
世帯人数	4	確定	確認者	影山裕美	

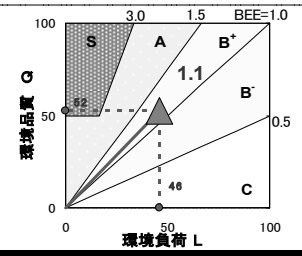
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

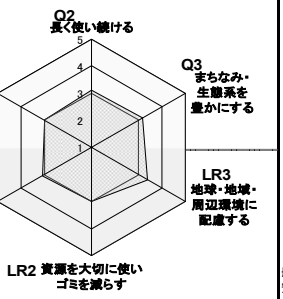
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

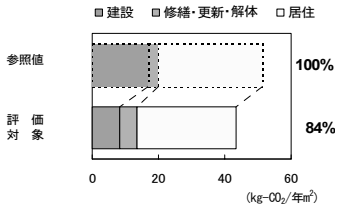
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

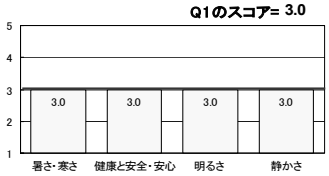


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

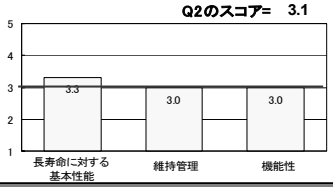
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

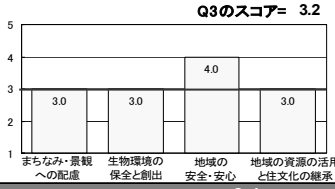
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

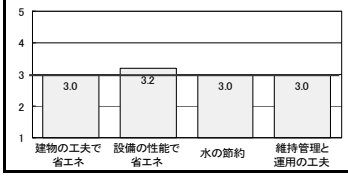


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

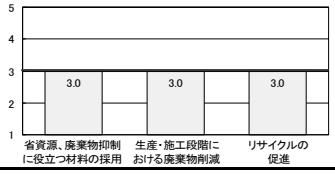


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

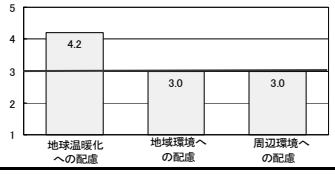
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.4



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4RC_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	8.42	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.02	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	100%	3.61	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	90%	0.76	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	83%	8.44	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	100%	8.34	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	100%	1.41	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	100%	2.06	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	100%	1.46	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	29.86	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		29.86	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	8.42	16.83
修繕・更新・解体	5.02	3.13
居住	29.86	31.41
合計	43.29	51.37

・ＲＣ造--Ⅳ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11RC_Ⅳ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	東京都葛飾区 第二種低層住居専用地域 Ⅳ	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

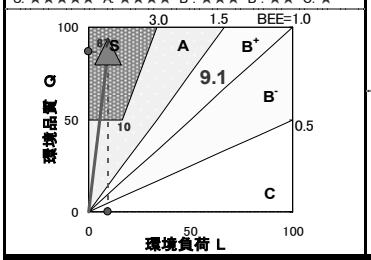
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

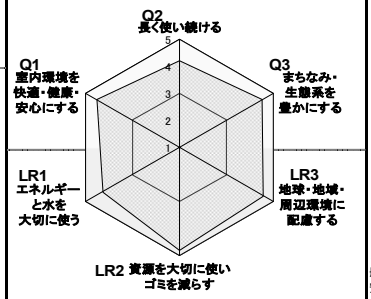
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

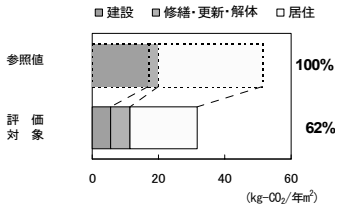
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

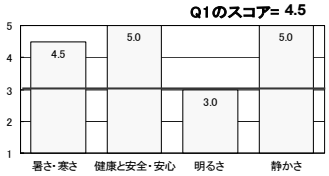


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

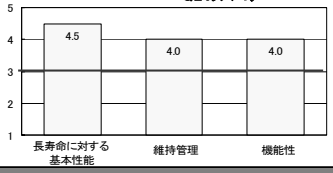
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

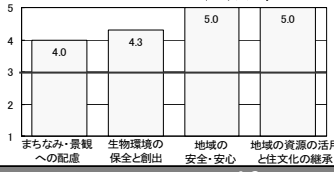
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

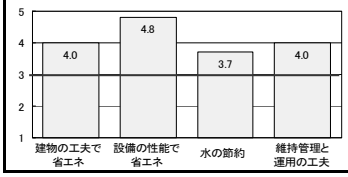


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

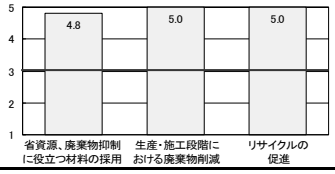


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

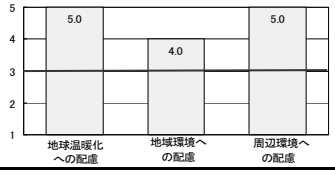
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency**（建築物総合環境性能評価システム）
■**Q: Quality**（すまいの環境品質）、**L: Load**（すまいの環境負荷）、**LR: Load Reduction**（すまいの環境負荷低減性）、**BEE: Building Environmental Efficiency**（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11RC_IV

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					4.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.61	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
コンクリート系	1	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.62	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	3.61	46%	1.67	95%	3.42
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.85	68%	0.57	95%	0.81
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	10.13	60%	6.04	100%	10.13
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.34	75%	6.25	100%	8.34
調理	照明・家電・厨房機器	1.41	75%	1.06	100%	1.41
換気	換気設備	2.06	40%	0.83	100%	2.06
節水	節水型設備×雨水の利用	1.46	85%	1.25	100%	1.46

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	31.63	20.50	31.41
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		20.50	31.41

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.61	16.83
修繕・更新・解体	5.62	3.13
居住	20.50	31.41
合計	**31.73**	**51.37**

・ＲＣ造--Ｖ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55RC_V	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

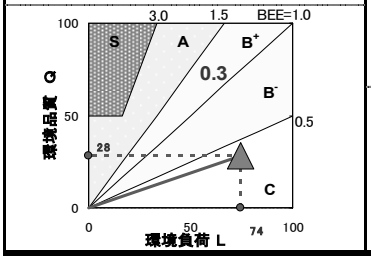
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

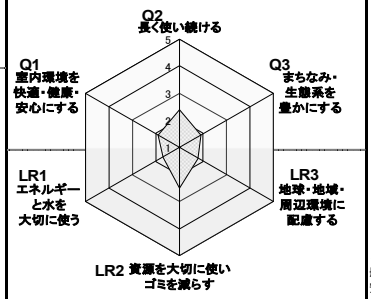
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

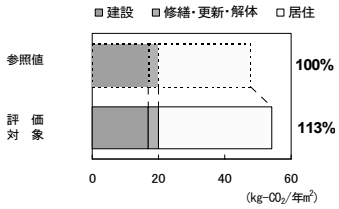
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

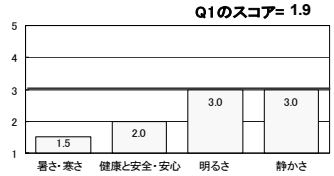


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

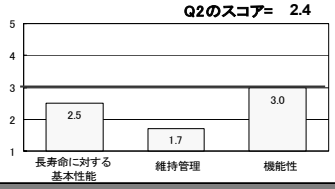
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

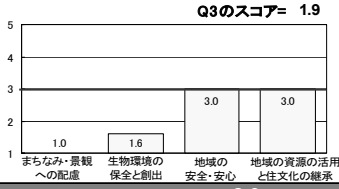
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

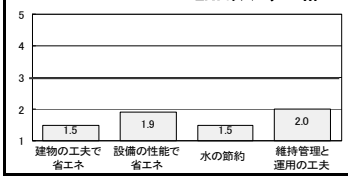


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

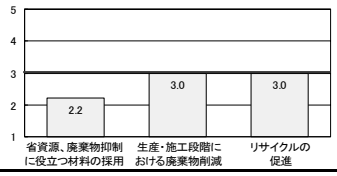


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.0

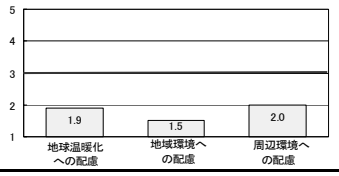
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.8



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55RC_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	16.83	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	3.27	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	156%	3.73	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	125%	1.07	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	111%	9.17	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	125%	10.01	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	125%	1.70	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	100%	1.98	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	115%	1.62	100%	1.41

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	33.99	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		33.99	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	16.83	16.83
修繕・更新・解体	3.27	3.13
居住	33.99	27.86
合計	**54.08**	**47.82**

・ＲＣ造--Ｖ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4RC_V		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年3月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定		外構の仕様	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定	<備考>		
敷地面積	126 ㎡	確定	評価の実施日	2008年3月20日	
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定	作成者	菊地文敏	
			確認日	2008年3月25日	
世帯人数	4	確定	確認者	影山裕美	

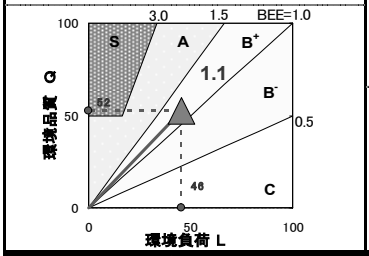
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

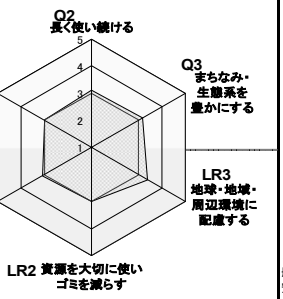
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

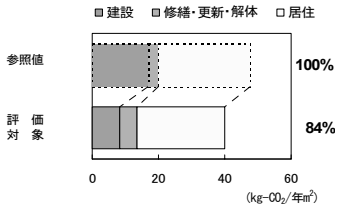
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

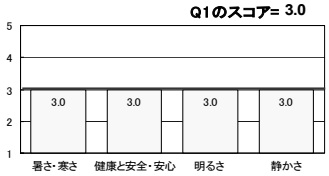


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

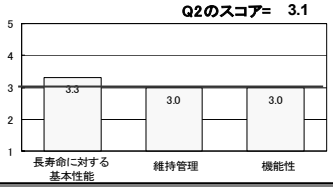
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

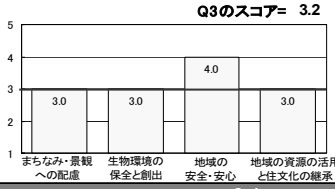
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

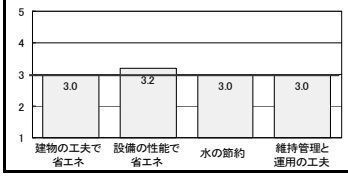


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

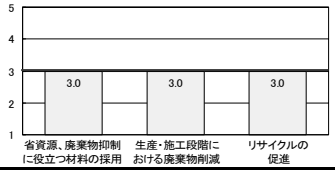


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

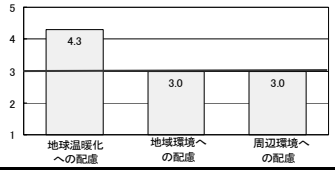
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.4



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4RC_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算 評価対象 8.42 kg-CO_2/年m^2 参照値 16.83 kg-CO_2/年m^2

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算 評価対象 5.02 kg-CO_2/年m^2 参照値 3.13 kg-CO_2/年m^2

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	100%	2.39	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	90%	0.77	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	83%	6.88	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	100%	8.01	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	100%	1.36	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	100%	1.98	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	100%	1.41	100%	1.41

3-3. 合計の計算

	基準値	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	26.56	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		26.56	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	8.42	16.83
修繕・更新・解体	5.02	3.13
居住	26.56	27.86
合計	39.99	47.82

・ＲＣ造--Ｖ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11RC_V	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	鹿児島県鹿児島市 第二種低層住居専用地域 V	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

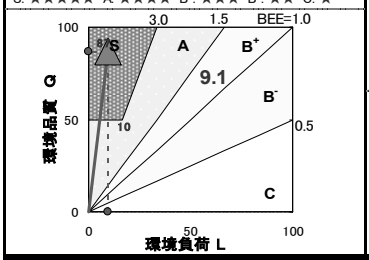
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

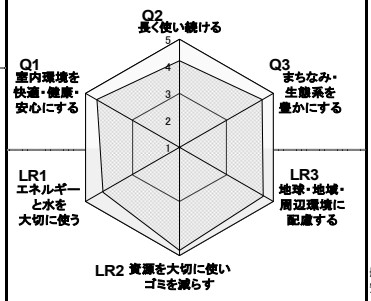
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

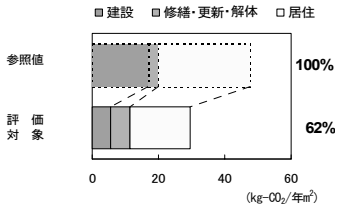
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2（温暖化影響チャート）

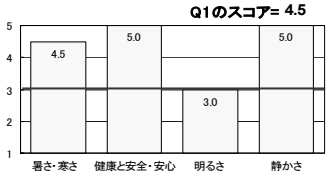


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

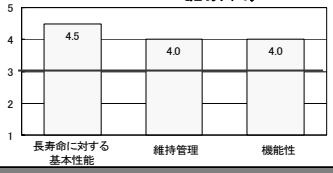
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

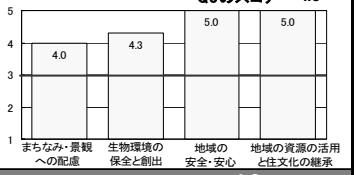
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

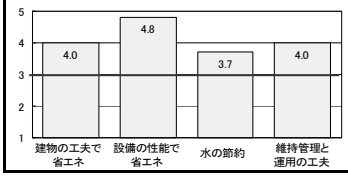


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

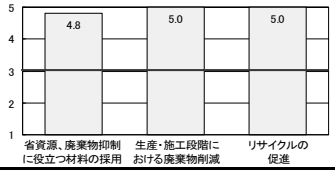


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

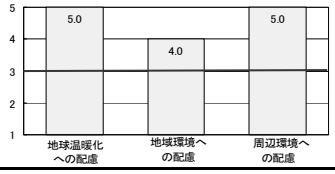
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO$_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11RC_V

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						4.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						4.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.61	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	5.62	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	2.39	46%	1.11	95%	2.27
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	0.86	68%	0.58	95%	0.82
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	8.26	60%	4.92	100%	8.26
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	8.01	75%	6.00	100%	8.01
調理	照明・家電・厨房機器	1.36	75%	1.02	100%	1.36
換気	換気設備	1.98	40%	0.79	100%	1.98
節水	節水型設備×雨水の利用	1.41	85%	1.20	100%	1.41

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	28.02	18.45	27.86
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		18.45	27.86

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	5.61	16.83
修繕・更新・解体	5.62	3.13
居住	18.45	27.86
合計	29.68	47.82

・ＲＣ造--Ⅵ地域--S55

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	S55RC_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	木造・在来工法 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

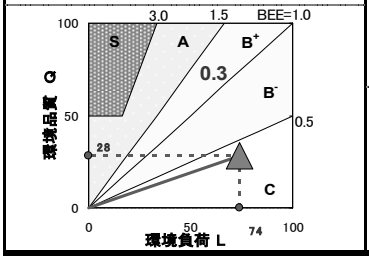
仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

1-2 外 観

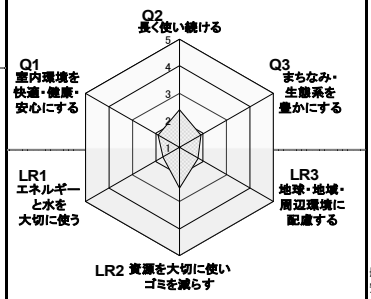
外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

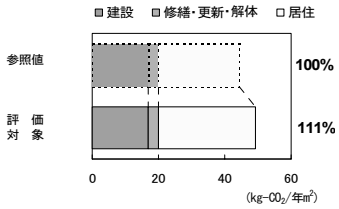
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

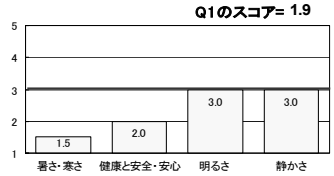


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

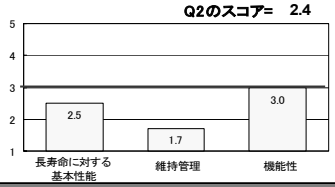
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.1

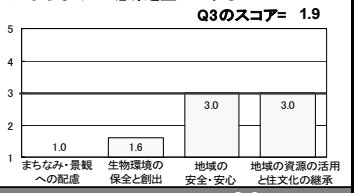
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 1.9



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 2.4

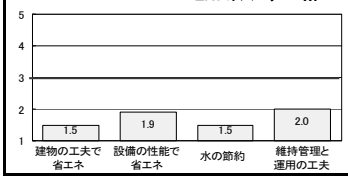


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 1.9

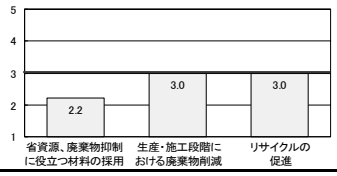


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.0

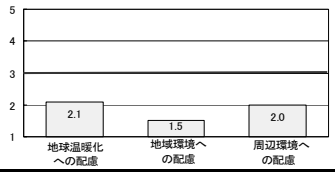
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 1.7



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 2.5



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 1.8



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級2の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
S55RC_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	3.0	8.92	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	3.0	15.05	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	3.0	16.83	3.0	16.83
1.2 外壁材						2.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						2.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	16.83	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	5.20	7.26	8.34	3.0	5.20	3.0	3.02
	鉄骨系	0	5.13	7.49	8.68	3.0	5.13	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.27	5.12	5.78	3.0	3.27	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
	3.27	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	2.0	125%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						0%	100%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	3.0	100%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	2.0	111%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	1.0	125%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	1.0	115%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	基準値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2	用途別消費率	CO_2換算値 kg-CO_2/年m^2
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	156%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	125%	2.75	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	111%	6.79	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	125%	4.71	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	125%	9.83	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	125%	1.67	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	115%	1.59	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	29.27	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		29.27	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
建設	16.83	16.83
修繕・更新・解体	3.27	3.13
居住	29.27	24.48
合計	49.36	44.44

・ＲＣ造--Ⅵ地域--H4

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H4RC_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

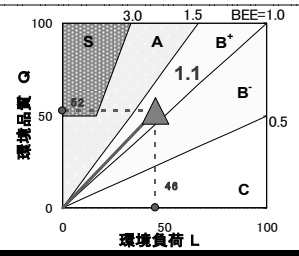
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

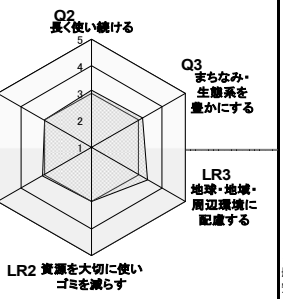
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★☆☆

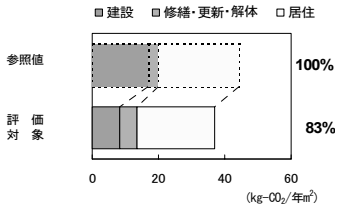
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

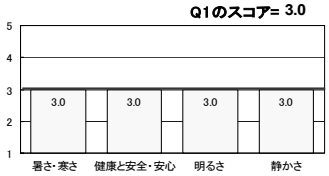


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

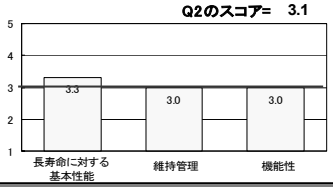
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

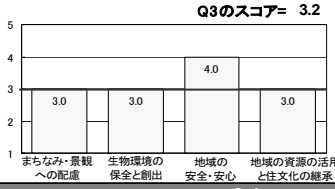
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 3.0



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 3.1

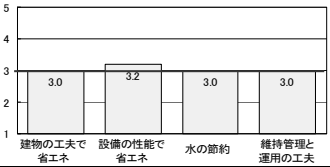


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.2

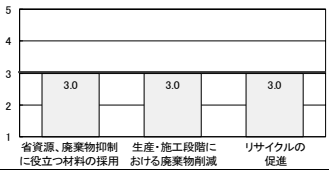


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

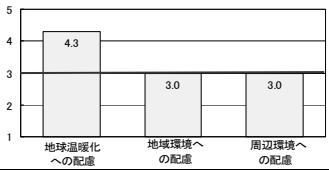
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.0



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.4



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級3の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H4RC_VI

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	8.92	4.46	2.97	4.0	4.46	3.0	8.92
	鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	4.0	7.53	3.0	15.05
	コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	4.0	8.42	3.0	16.83
1.2 外壁材						3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根						3.0		3.0	
2 維持管理									
2.2 維持管理の体制						3.0		3.0	

1-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
8.42	16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

			kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能									
1.1 躯体	木質系	0	3.02	5.63	6.89	4.0	5.63	3.0	3.02
	鉄骨系	0	2.85	5.78	7.16	4.0	5.78	3.0	2.85
	コンクリート系	1	3.13	5.02	5.69	4.0	5.02	3.0	3.13

2-2. 合計の計算

評価対象 kg-CO_2/年m^2	参照値 kg-CO_2/年m^2
5.02	3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	3.0	100%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						0%	100%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	4.0	83%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	3.0	100%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	3.0	100%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	3.0	100%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	3.0	100%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	3.0	100%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	CO_2換算値	用途別消費率	CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	100%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	90%	1.98	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	83%	5.09	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	100%	3.76	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	100%	7.86	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	100%	1.33	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	100%	1.95	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	100%	1.38	100%	1.38

3-3. 合計の計算

	kg-CO_2/年m^2	評価対象	参照値
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	23.35	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		23.35	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	kg-CO_2/年m^2 評価対象	参照値
建設	8.42	16.83
修繕・更新・解体	5.02	3.13
居住	23.35	24.48
合計	36.78	44.44

・ＲＣ造--Ⅵ地域--H11

CASBEE™ すまい[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版） ■使用評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要

建物名称	H11RC_Ⅵ	
竣工年月	2008年3月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	沖縄県那覇市 第二種低層住居専用地域 Ⅵ	確定
構造・工法 階数	RC造 地上2F	確定
敷地面積	126 ㎡	確定
建築面積 延床面積	63 ㎡ 126 ㎡	確定
世帯人数	4	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	確定
<備考>		
評価の実施日	2008年3月20日	
作成者	菊地文敏	
確認日	2008年3月25日	
確認者	影山裕美	

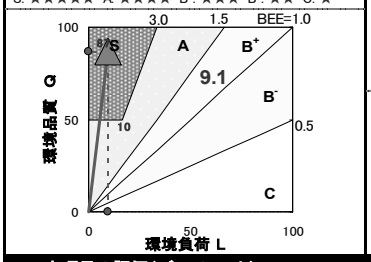
1-2 外 観

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

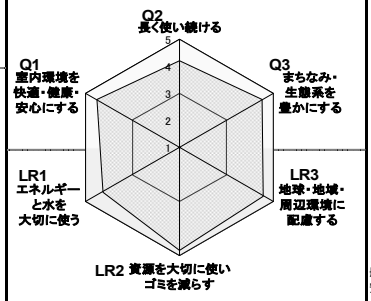
2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★★

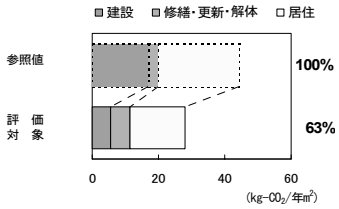
S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★



2-2 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



2-3 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

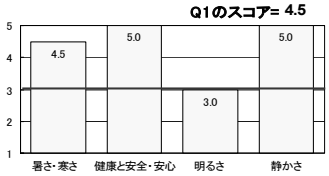


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

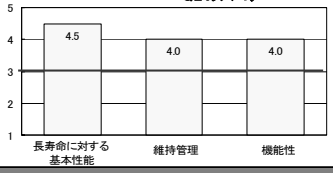
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 4.4

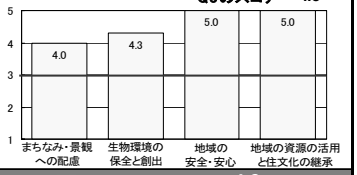
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア= 4.5



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

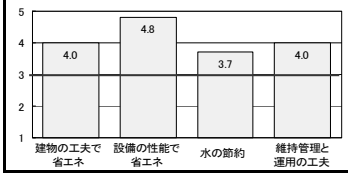


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 4.5

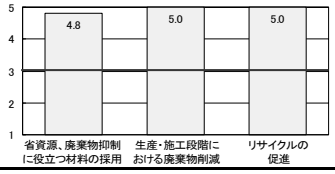


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.6

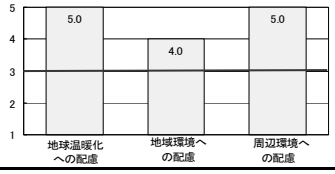
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.3



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 4.8



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 4.6



3 設計上の配慮事項

総合		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	**Q2 長く使い続ける**	**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする**
日本住宅性能表示基準「5-1 省エネルギー対策等級」における等級4の住宅。		
LR1 エネルギーと水を大切に使う	**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす**	**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する**

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency（建築物総合環境性能評価システム）
■Q: Quality（すまいの環境品質）、L: Load（すまいの環境負荷）、LR: Load Reduction（すまいの環境負荷低減性）、BEE: Building Environmental Efficiency（すまいの環境効率）
■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい（戸建）の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
■「ライフサイクルCO_2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
■$LCCO_2$の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO_2計算シート」を参照されたい

CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
H11RC_V1

■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい（戸建）（2007年版）
■評価ソフト: CASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

ライフサイクルCO_2計算シート（標準計算用）

1. 建設に係るCO_2排出量

1-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

	構造の比率	kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	8.92	4.46	2.97	5.0	2.97	3.0	8.92
鉄骨系	0	15.05	7.53	5.02	5.0	5.02	3.0	15.05
コンクリート系	1	16.83	8.42	5.61	5.0	5.61	3.0	16.83
1.2 外壁材					3.0		3.0	
1.3 屋根材、陸屋根					4.0		3.0	
2 維持管理								
2.2 維持管理の体制					4.0		3.0	
1-2. 合計の計算						5.61		16.83

2. 修繕・更新・解体に係るCO_2排出量

2-1. 評価結果のCO_2排出量への置き換え

Q_H2 長く使い続ける

		kg-CO_2/年m^2 レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量	参照値 kg-CO_2/年m^2 採点結果	CO_2排出量
1 長寿命に対する基本性能								
1.1 躯体 木質系	0	3.02	5.36	5.98	5.0	5.98	3.0	3.02
鉄骨系	0	2.85	5.50	6.21	5.0	6.21	3.0	2.85
コンクリート系	1	3.13	4.98	5.62	5.0	5.62	3.0	3.13
2-2. 合計の計算						5.62		3.13

3. 居住時のエネルギーに係るCO_2排出量

3-1. 評価結果の消費率への置き換え

LR_H すまいの環境負荷低減性

LR_H1 エネルギーと水を大切に使う	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	評価対象 採点結果	消費率	参照値 採点結果	消費率
1 建物の工夫で省エネ									
1.1 建物の熱負荷抑制	150%	125%	100%	–	69%	5.0	69%	3.0	100%
1.2 自然エネルギー利用								3.0	95%
暖房エネルギーの削減						10%	90%		
冷房エネルギーの削減						10%	90%		
2 設備の性能で省エネ									
2.1 暖冷房設備									
1 暖房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2 冷房設備	125%	–	100%	–	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.2 給湯設備									
1 給湯機器	–	117%	100%	83%	71%	5.0	71%	3.0	100%
2 浴槽の断熱	105%	–	100%	–	95%	5.0	95%	3.0	100%
3 給湯配管	–	111%	100%	94%	89%	5.0	89%	3.0	100%
2.3 照明・家電・厨房機器	125%	–	100%	88%	75%	5.0	75%	3.0	100%
2.4 換気設備	–	–	100%	70%	40%	5.0	40%	3.0	100%
2.5 エネルギー利用効率化設備									
2 太陽光発電システム						0.0		0.0	
3 水の節約									
3.1 節水型設備	115%	–	100%	85%	70%	4.0	85%	3.0	100%
3.2 雨水の利用	–	–	100%	95%	90%	3.0	100%	3.0	100%

3-2. 用途毎の消費率への置き換え、およびCO_2排出量の計算

用途	式	kg-CO_2/年m^2 基準値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値	用途別消費率	kg-CO_2/年m^2 CO_2換算値
暖房	建物の熱負荷抑制×自然エネルギー利用×暖房設備	0.00	46%	0.00	95%	0.00
冷房	自然エネルギー利用×冷房設備	2.20	68%	1.48	95%	2.09
給湯	給湯機器×浴槽の断熱×給湯配管	6.11	60%	3.64	100%	6.11
照明	照明・家電・厨房機器	3.76	75%	2.82	100%	3.76
家電	照明・家電・厨房機器	7.86	75%	5.90	100%	7.86
調理	照明・家電・厨房機器	1.33	75%	1.00	100%	1.33
換気	換気設備	1.95	40%	0.78	100%	1.95
節水	節水型設備×雨水の利用	1.38	85%	1.17	100%	1.38

3-3. 合計の計算

		kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
合計 （Σ（用途別基準値×用途別削減率））	24.59	16.80	24.48
太陽光発電システムでの削減量 （基準値合計×削減率）		0.00	0.00
総計 （合計-太陽光発電）		16.80	24.48

4. ライフサイクルCO_2の計算（標準計算）

	kg-CO_2/年m^2 評価対象	kg-CO_2/年m^2 参照値
建設	5.61	16.83
修繕・更新・解体	5.62	3.13
居住	16.80	24.48
合計	28.03	44.44